



333-C地区ニュース

発行

1999～2000年度

地区PR情報委員会

地区ニュース編集委員



日本・フィリピン国際親善ユースサッカーライオンズカップ '99にて
フィリピンチームキャプテンに記念盾を贈る岡野ガバナー
右端はフィリピンバストガバナーズ協議会のL・モランテ議長



ライオンズクラブ国際協会
333-C地区ガバナー

L.岡野 正義 (千葉LC)

ガバナースローガン

友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため

ご挨拶

7月2日、風光明媚で快適な夏のサンディエゴの国際大会でスタートして以来、早くも師走を迎え、私どもの年度も半年が過ぎようとして居ります。

その間、皆様のお力をお借りし、第1回キャピネット会議、サマーキャンプ、と少しでもご期待に答えるべく努めて参りましたが、もとより十分とは言えないまでも概ね無難に終えることが出来たように思います。

ご尽力いただいた関係役員の方々に改めて厚く御礼申し上げます。

8月21日から始まった公式訪問も、前年度と同様にゾーン単位の合同例会とさせて頂き、クラブ三役

の方々と率直な意見を交わすことが出来たように思います。それぞれ大変お世話様になりました。

各クラブの熱心な、そして土地柄や伝統を活かした素晴らしい奉仕活動の数々、厳しい環境下での真摯な会員増強への努力、運営費節約への創意工夫と、大きく心を打たれる日々でした。

そして8月のトルコ大地震、9月の台湾大地震被害者への救援資金については、10月15日に目標を大きく超える4,772千円を日本8複合地区ガバナー協議会議長連絡会の指定口座に送金することが出来ました。

また、台湾の親密クラブへの地区内クラブからの

直接支援も約814万円に達し、加えて台湾への支援金としてキャビネットに寄せられた資金も既に284万円に達して居ります。これについては地区内クラブと姉妹関係にある被災地のクラブへ直接提供できないものかと考えて居るところであります。

全日本ライオンズとしても、トルコへ120百万円、台湾へ80百万円を近く贈呈できる予定であります。ご協力に感謝申し上げます。

また10月8～10日の世界ライオンズ・デーを中心とした水辺のクリーン作戦には継続的な駅前清掃等も含め、91クラブ1,744名の会員、並びに同程度の市民の方々が参加して下さい、1人平均3時間強の活動を展開して頂きました。

地元の美しい自然環境づくりにライオンズが市民の先頭に立つという趣旨がご理解と共感を頂いた結果と思います。ありがとうございました。

10月末にはフィリピン地区のバスターガバナーズ協議会議長モランテ氏の率いるマニララサル高校を中心とした高校サッカーチームを迎え、地元2高校との親善試合を行い、青少年の良き国際交流を実現することが出来ました。

富原実行委員長を始めご協力下さった方々に深く感謝申し上げます。

そしてまた、過日シンガポールで開催されました東洋東南アジアフォーラムには、日本からの登録約2800名(3000名か)、C地区内より約100名の方にご参加を頂き有り難うございました。

シンガポールで行われた333複合地区合同ディナークルーズには234名(A40名、B130名、C65名)もの方が一堂に会し、麻生貞市国際理事候補擁立を控え、有意義な懇親の一夜を過ごすことが出来

ました。

2001年度には333複合地区から麻生国際理事を誕生させるために、今後とも何かとご協力頂くことがあろうかと思われませんが、その節には宜しく願いを申し上げます。

地区としてこれから実施する主な行事としては、
1. 青少年健全育成事業の一つとしての薬物乱用防止キャンペーンについては、既に各クラブにお知らせ致しましたので宜しく願い申し上げます。また、2月上旬には薬物乱用防止指導員養成講座を開くべく検討中であります。

2. 1月末に、高校弁論大会を予定して居りますが、今年は各クラブ独自の弁論大会での優勝者をお招きして幅を広げたい物と思っておりますのでご協力をお願い致します。

3. 2月に実施するLEO(23名応募)の“カンボジア植樹と歴史探訪の旅”に合わせてプノンペンオーバイコンLCへの公式訪問を実施する予定であります。世界遺産のアンコールワット見学の機会でもありますので、ご都合のつく方はこの際、ご同行を検討されては如何でしょうか。

4. また、来る4月30日の地区年次大会、5月28日の複合地区大会、6月19日からのハワイでの国際大会についてもそれぞれ周知徹底して頂き、積極的にご参加下さいますよう宜しく願い申し上げます。

では本年度後半も楽しく、そして充実した活動が展開されますよう、そして新会員の獲得にも成功されますよう、皆様的一段のご協力をお願い申し上げますと共に、歳末多忙の時期を控え、会員各位の益々のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

【表紙の写真】

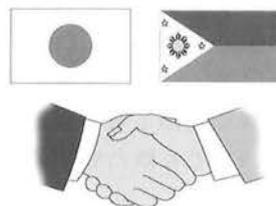
国際親善ユースサッカー開催

フィリピンバスターガバナーズ協議会議長、L.モランテ氏を団長としたマニラ高校選抜チームを迎え、「日本・フィリピン国際親善ユースサッカーライオンズカップ99」として地区ライオンズ主催の下に両国の高校生の国際交流が実施された。

10月29日に来日、四街道北港校のサッカー部の父兄にホームステイを引き受けて頂き、11月3日帰国までの間に、県立高校2チームとの対戦、柏レイソル・横浜マリノス戦の観戦、船橋地区LC挙げての歓迎会、四街道LCによるサヨナラパーティと大勢のライオンのご協力を頂き、短期間の割には充実したスケジュールとすることが出来た。

生徒たちは目を輝かせ、口々に感謝の言葉を述べながら帰国の途についた。

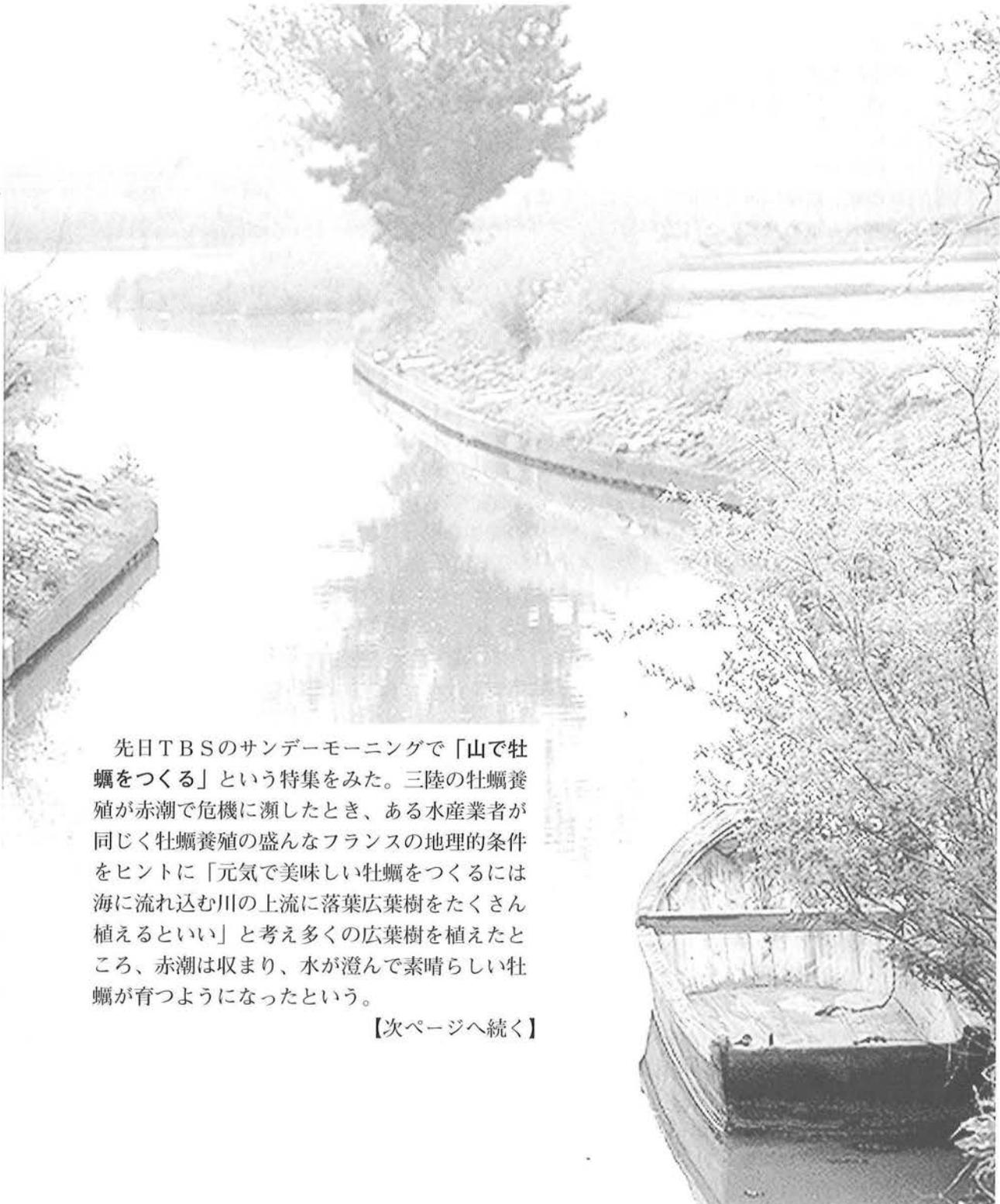
なお、この事業は千葉県青少年育成基金の本年度助成事業の第1号です。



特別実行委員長
4R・RC L.富原 啓

333-C地区 統一テーマ活動
千葉県の水辺をきれいにしようキャンペーン

水辺のクリーン作戦



先日TBSのサンデーモーニングで「山で牡蠣をつくる」という特集をみた。三陸の牡蠣養殖が赤潮で危機に瀕したとき、ある水産業者が同じく牡蠣養殖の盛んなフランスの地理的条件をヒントに「元気で美味しい牡蠣をつくるには海に流れ込む川の上流に落葉広葉樹をたくさん植えるといい」と考え多くの広葉樹を植えたところ、赤潮は収まり、水が澄んで素晴らしい牡蠣が育つようになったという。

【次ページへ続く】

山で牡蠣をつくる～リンクしている生態系 (前ページより続き)

戦後植林した杉などの針葉樹が背を伸ばし、陰になった広葉樹林は姿を消した。広葉樹は冬に葉を落とし、土壌の保水力を高める。夏には落ちた葉が水を吸い発酵して、土壌の中の鉄分を分解して水に溶ける状態にする。そこに降った雨が鉄分を川に流し海に注ぐ。すると鉄分を必要とする多くの生物が住み着いて水中環境を整えてくれる。水中のバランスがよいと赤潮は発生しない。そして元気な牡蠣が育つ。今では日本中の多くの牡蠣養殖産地で山に広葉樹を植えるようになったそうだ。

人間が植えた杉が花粉症の原因となり、一方で土壌の保水力を奪い、赤潮を引き起こし三陸の美しい海の中環境を破壊する。そう、環境はリンクしているのだ。

水辺を掃除することは、環境を美化するだけでなく、生物の住める環境をつくること。そしてゴミと接することでゴミ問題や水質汚染を実感し、自分たちの生活を見直すきっかけになる。

岡野ガバナーのピオトープをリンクさせた「水辺のクリーン作戦」は単にゴミを拾うことだけでなく、そうした環境意識啓発も狙われていたに違いない。



地区統一テーマ活動、成功裡に終わる

年度始めの7月の時点では、昨年度の「子どもたちを薬物乱用から守ろうキャンペーン」との絡みで多くのクラブが困惑し、「水辺でないクリーン作戦はどうか」「薬物乱用防止をもう一度やりたい」と参加をためらうクラブが約3分の1強程度あったが、岡野ガバナーが精力的に公式訪問で趣旨を伝えられ、椎名地区環境保全委員長による7月の環境保全セミナーが開催され、また今年は趣旨・内容を詳報する地区ニュースが8月中に発行されたことも手伝って91クラブの参加を得ることが出来た。

岡野ガバナーの目標はライオンズデーの活動に多クラブが参加したことで達成されたわけではなく、今後の展開のスタート地点に立ったに過ぎないといえるだろう。もちろん笹本前ガバナーの薬物乱用防止も同様だ。しかし、環境も薬乱も個々のクラブが単独でバラバラに取り組んでいた一昨年度までとは違ったレベルでクラブとメンバーの意識に浸透したことは間違いない。その意味でも統一テーマ活動は成功だったと思う。

地区統一テーマ活動、今後の課題

地区統一テーマ活動を「地区の事業」ととらえ異論を唱える会員も少なくないが、大多数のクラブは「地区によるハーモニーある大規模事業の演出」を歓迎しているようだ。

しかし、7月末の第1回キャビネット会議の承認を得ないと内容を公表できず、8月に入ってから活動内容が周知される現在のシステムでライオンズデーの実施は、タイムスケジュール的にクラブにかなりの無理をかけてしまうし、事業内容のレベルも低下する。

もし来年度以降も統一テーマ活動を打ち出すなら4月に選出される次期ガバナーエレクトは5月の次期地区役員、次期クラブ3役研修会で現役ガバナーの了解のもとで非公式に構想を伝え、クラブの活動日程に予め組み込めるようにするなどの対策を講じないといつか物理的破綻が来るだろう。

「それではこれまでと手法が違う」といわれるかもしれないが、無理な部分は慣例にこだわらず改善して変えていくことこそが、岡野ガバナーが小泉昭名誉顧問を長とする地区運営特別検討委員会に託した目的であり、岐路に立つLCの将来を左右するといつて過言ではない。

アブナイ!!

危機にさらされる日本固有の生態系

水辺のクリーン作戦～生態系の保全是水辺から



地区環境保全委員長

L. 椎名 益男 (千葉LC)

Li on誌6月号30ページに「自然は人々を癒し、そして心を和ませてくれます。ライオンズクラブは失われつつある癒しと和を求める奉仕団体だと思えます。」と書かれて居りますが、少しでも残っている自然環境を保全し、そして破壊された自然をビオトープ活動(Li on誌'98、7月号32ページ参照)で修復して、素晴らしい自然環境を子供達に、そして更に後世に残していくことが、たった50年足らずで自然を破壊してしまった私たちの罪滅ぼしであるし義務であると思えます。

千葉LCは千葉市花見川第4・5小の子供達とLCのメンバーとで千葉市の協力も得て、千葉市にオニヤンマやギンヤンマを呼び戻そうと、「あつまれトンボ花島池」を昨年7月に造り、その後も「ライオンズ・トンボとなかよしプログラム」「ビオトープ：いっしょに暮らそうよ。トンボよ永遠に」のキャッチフレーズでアクティビティを続けて居ります。

現在日本人は池などの水溜まりがあるとすぐゴミを捨てて埋めてしまったり、また空前の釣りブームのために池、沼、川にブラックバスやブルーギルを放流してしまい本当に困って居ります。

日本は長い間まわりを海に囲まれた島国であったために日本固有の繊細で優雅な生物で形成された生態系でした。しかし非常におとなしい生物であるために外国から入ってきた荒々しい生物に侵略されている現状をご存じでしょうか。ブラックバス、ブルーギルはトンボのヤゴは勿論、日本固有のメダカ、タナゴ、フナ、アユ、ハヤ、ヤマメ、ワカサギ等々すべてを食べつくそうして居ります。どうしても釣りがしたければ、決まった一定のブラックバス、ブルーギルの池沼を造ってそこだけに放流して釣りをしてほしいものです。私達の造った「あつまれトンボ花島池」にもブラックバス、ブルーギルを誰かに入れられてしまい非常に困惑して居ります。

ブラックバス、ブルーギル以外、外国から日本に侵略して日本固有の生物を追い詰めているものをあげると、セイタカアワダチソウ、アメリカザリガニ、アメリカシロヒトリ、タイワンザル、タイワンリス、タイワンウチワヤンマ、セアカゴケヒメグモ等々数え上げればきりが無いほど、日本は侵略されて居ります。

私たちは自然環境を保全するアクティビティの中で未来のために日本固有のすばらしい生態系の保全も忘れてはならないことだと思えます。

皆様のご理解とご協力をどうかよろしく申し上げます。

(Li on誌'99・8月号より転載)



四街道LC楠岡巖L所有の休耕田を活用したトンボ池作り

1999年8月7日(土)の環境保全セミナーで休耕田を活用したトンボ池作りのお話を少しさせて頂きましたところ、早速四街道LC楠岡Lからお申し出がありました。

8月26日(木)千葉県立中央博物館の倉西良一先生に同行していただき、四街道市栗山の楠岡Lの邸宅に伺いました。

お家の裏には樹齢300年余りの杉の木を中心に雑木林が生い茂り、林の斜面から直接に田に連続する生態を示しており、田の先にはまた雑木林があり、谷津田とそれを取り巻く雑木林がセットになって様々な生き物を育んできた典型的な「里山」の風景でした。しかも、稲穂が実った水田のすぐ近くを成田エクスプレスや総武線の快速電車が行き交う素晴らしいシチュエーションでした。

シオカラトンボ、アカトンボ、クロアゲハ、カラスアゲハ、モンキアゲハ等様々な蝶も飛び交い、林ではツクツクボーシ、アブラゼミ、ヒグラシの合唱がきかれました。

「これほど素晴らしい場所が良く残っていましたね。」と倉西先生も非常に感動され、早速千葉県立中央博物館の皆さんとチームを組んで、この休耕田のトンボ池造りの設計をして下さることになりました。

四街道LC、栗山小学校、ボーイスカウト、ガー

トンボの宝庫 千葉県匝瑳郡光町乾草沼

1999年8月7日環境保全セミナー直後、7RRC 柏熊庄一Lが「昔、50年前子供の頃、今椎名Lがお話になった乾草沼で良く泳いで遊んでおりました。」とおっしゃって下さり、早速一緒に乾草沼に行ってみましょうと約束が出来ました。

乾草沼は1993年(平成5年)4月から家族共々定期的に観察させて頂いております。

32種類のトンボが生息しているほどの千葉県有数の自然の宝庫なのですが、その貴重さが認識されず沼の周辺でも開発の波が押し寄せ宅地造成が始まり、道路も出来、ゴミも捨てられ非常に悲しく何とか保全できないかと思案していたものですから、今回のセミナーで何とか保全の方法はない物でしょうかとお話しした次第です。

8月22日(日)快晴。家内同伴で午前10時30分光町役場で柏熊Lと合流して乾草沼に参りました。子供の時以来こんなに詳細に沼を観察したのは50年ぶりとの事で、乾草沼の余りの変わり様に柏熊Lは驚いておられました。トンボの生息には乾草沼は勿

水辺の生物 復活作戦

今眠っている休耕田がとんぼ等の水辺の生物と共生できる空間作りができるかという点に伺いました。調査には千葉県オオムシクラブ環境保全委員長椎名氏、県立中央博物館生態・環境部長中村氏、環境科学研究所水産昆虫学研究室倉西氏、地主でありライオンズクラブ会長の楠岡氏の四人。目的は楠岡氏の家の裏手にあり田んぼが広がる裏山のすかし所です。

林が田んぼにつながる楠岡さんの土地は水辺生物育成の条件を準備してあります。向山に田んぼがあり、ここに池を作れば理想的なトンボ池になります。オオムシクラブが中心になっていて休耕田は乾燥する方向に進んでいます。少し手を加えたくぼみを作り、水辺の生物がアクセスしやすい空間にするだけであると自然に任せたいというので中村氏と倉西氏、雑木林がスポンジの役割を果してこの十五年経った今でも下の休耕田は潤った状態になっていると、そこでできていた小さな水溜りにザリガニが動き回り今では見かけられることも少な

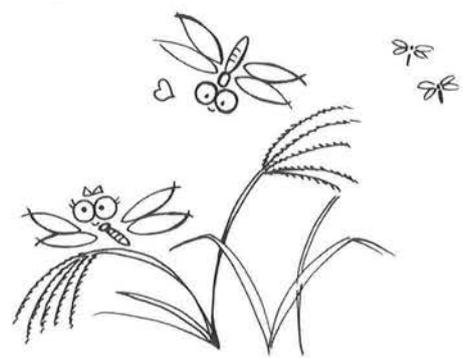
くなったオニヤンマが私達の見ると飛んで来たり時には感動の音が上がりました。こんな小さな水溜りもそこにする生物にとってはけがえの宝庫。オニヤンマも産卵の場所を探して来たとしよう。近くに湧水の小川があるというので水をかけ分け移動可能な水路は日当たりなど土の中からは出た水が溜って赤茶けています。けれど湧水の川にしか生息できないホトケドジョウが一匹。カマキリも見つかれば条件さえ整えばボタルも住めるという期待も大いに膨らみます。各地でこのように水辺を復活させ

水辺の生物と人間が共生できる環境を広げていきたいとの熱い思いがひしひしと伝わってきました。二十世紀の子どもの私達大人が残してあげなければいけない自然は今私達で守らなければ...。トンボを追いかけ、ザリガニ捕りに夢中になっている子ども達の姿が聞かされてくると聞かれます。

椎名委員長の活動を伝える新聞記事
(コミュニティ四街道・平成11年11月1日)

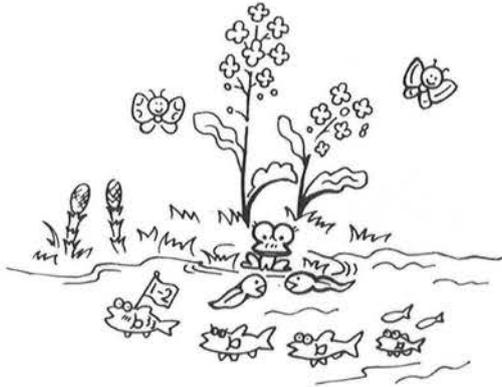
ルスカウト、また一般市民の皆さんの労力奉仕によって素晴らしいトンボ池が完成すると思います。

論大切ですが、それを取り囲む山林、草原の三点セットが完備されていることが絶対条件であることも分かって頂き、八日市場LC、光町LCを中心に7RのLCで関心を持ち保全に努力して下さいを約束して下さい非常に嬉しく思いました。ギンヤンマ、オニヤンマ、ショウジョウトンボ、コシアキトンボ、更にトビ、白鳥、カワセミが飛び交う姿に感動し、ウグイスの声に送られて帰路につきました。



房総半島から発見される

1999年7月25日千葉県光町乾草沼（ひぐさぬま）での調査で、関東からは絶滅したと考えられていたミサキトビケラが見出された。関東からは1911年以降初めての記録で88年ぶりの記録となる。今回ミサキトビケラが見つかった乾草沼は、心ない釣り人や大型ゴミなどの不法投棄で環境悪



化が進む状況にあり、関係者は早急な保全対策が必要と述べている。

ミサキトビケラは、1911年に神奈川県三浦半島三崎で採集された標本をもとに、1931年日本の昆虫学の泰斗でもある（当時北海道帝国大学）松村松年教授によって記載（新種として公表）された昆虫である。

ミサキトビケラは新種として公表されてから数奇な運命をたどる。ある時期を境にして、確実な

採集記録がなくなってしまう。おそらく1910年頃、ミサキトビケラは各地に普通に生息していたものと考えられるが、1948年に採集された資料を最後に姿を消してしまったのである。

文献や標本資料を検討した結果、福岡県、京都府、滋賀県からは、ミサキトビケラが1940年代まで確実に生息していた証拠となる標本や記録があった。その後、1997年6月、紀伊半島の志摩半島からは再発見されるまでは、長年にわたり厚いベールに覆われていた。ミサキトビケラは、平地のため池を生息地としていたため、戦後普及した農業などの影響で各地で絶滅した種であると考えられていたためだ。

関東からは1911年以降、確実な記録や標本が得られていなかった。また関東では、良好な水環境を保つ平地のため池が、各地で激減してしまったので、ミサキトビケラも絶滅してしまったのではないかと考えられていた。

このミサキトビケラという昆虫は、分布が極めて限定されているだけではなく、水生昆虫ではめずらしい卵胎生という習性を持っている。このような貴重な昆虫がこれからも生息していくためには、ため池の水質や周辺の植生まで含めた保全対策が必要である。

皇居のお濠はブルーギルでいっぱい

環境庁では皇居外苑のお濠で北米原産のブルーギルなどの外来魚の駆除作戦を始めた。日比谷濠では6人で小舟から投網したところ体長3～10センチのブルーギルの幼魚や稚魚、ブラックバスなどが一時間で数百匹入った。日本の在来魚はわずかに10匹だけだった。この状況は全国の至るところで発生している。（読売新聞より）

これら外来魚は小魚から昆虫、草まで何でも丸飲みしてしまう小さな水辺の生態系を完全に壊してしまう。

今回の「水辺のクリーン作戦」は水辺を対象としたどちらかという陸上対象の活動だったが、下総中山LCの真間川ヘドロ除去などの水中清掃や「釣り大会」形式の池や沼の外来魚駆除などの取り組みも各クラブの活動として今後ぜひ取り組んでいただければ幸いだ。





千葉市内L C合同アクティビティー 稲毛の浜クリーンデー

市民1500人参加の 「海辺のクリーン活動」として

岡野ガバナーのお藤元第5リジョンのうち千葉市内の10クラブが合同で「稲毛の浜クリーンデー」を実施した。当初参加者は700名を見込んでいたが当日は約1500名の市民が集まって1時間半に渡って海岸に捨てられた空き缶やタバコの吸い殻を取り除いた。

今回の活動では幕張メッセL Cの阿佐幸雄Lを委員長に各クラブからの代表者で「稲毛の浜クリーンデー実行委員会」を組織し、準備、広報活動をすすめられた。

清掃する稲毛の浜は全長1200メートル。プールや花の美術館などがある稲毛海浜公園の海に面したエリアに建設された人工海岸。

私たち一人ひとりが自然破壊の加害者

自然環境を維持することは難しいが、それ以上に人間が手を加えた環境を守り維持し自然に融合させることは困難だ。「澄んだ水に魚は住めない」というように「きれいなこと」と「自然なこと」とはまったく意味が違うが、人間が環境を汚さないための努力をすることは「自然を守る」ことにつながる。

日本の川や海岸に捨てられたペットボトルが太平洋に流され、北太平洋からアメリカ西海岸を経由してガラパゴス諸島の海鳥たちの環境を壊し、

(第三種郵便物認可)



「いなげの浜」でごみ拾いする参加者ら

水辺の自然を美しく保つと行委員会主催が九日行われ、美浜区高浜の人上海、約千五百人の市民らが「いなげの浜」を清掃す。海岸に捨てられた空き缶やタバコの吸い殻を取り除いた。稲毛の浜クリーンデー。たばこの吸い殻を取り除いた。稲毛の浜クリーンデー。たばこの吸い殻を取り除いた。稲毛の浜クリーンデー。たばこの吸い殻を取り除いた。

稲毛の浜クリーンデー

水辺をきれいにしよう

市民ら1500人がごみ拾い

はじめ、少年野球チームの子供たちや一般市民が参加。活動には、法務大臣に就いてびっくりした。環境保護意識を高めよう。稲毛の浜クリーンデー。たばこの吸い殻を取り除いた。稲毛の浜クリーンデー。たばこの吸い殻を取り除いた。稲毛の浜クリーンデー。たばこの吸い殻を取り除いた。

繁殖と生存を脅かしていることは死んだ海鳥の消化器官から出てくる日本語の印刷されたボトルからはっきり証明されている。生態系を壊せば、人間自身の生存環境が脅かされる。ゴミを捨てることは自分自身と岡野ガバナーのスローガン「子らのため」の子どもたちの将来の生存環境を壊していることになり文字通り自殺行為なのだ。それでいて自分も加害者だと言うことを忘れて、ダイオキシンだやれなんだと自治体や企業だけを悪者にして騒いでいるのが日本の現状だ。

市民みんなで環境を考えるために

人間が運んできた稲毛の浜の砂粒に隠れているゴミはゴミ自体が悪いのではなくそれを捨てた私たち人間が悪いのだ。「私は捨ててないわ」と言ったところで、人間全体の責任であることはかわらない。そのことを市民自身が自覚するためにL Cはこういった市民参加型の大規模事業のプロデュースをこれから一層意識的に推し進めるべきだと思う。

その意味でも千葉市少年軟式野球協会の子どもたち多数が参加したこの日の事業は意義の大きな素晴らしい第一歩だった。

市民と共に行う、千葉市内ライオンズクラブ合同アクティビティー

稲毛の浜クリーンデー

1999年10月9日(土曜日) 開始:午前8時30分
集合:午前8時 終了予定:午前10時 雨天決行(台風の場合10/16に延期)

今年度の千葉ライオンズクラブから選出された岡野地区ガバナーが、ガバナー方針ののちとして「水辺のクリーン活動」を掲げています。千葉市内116のライオンズクラブの先頭になって、ガバナーを輩出した千葉市内10のライオンズクラブが、合同で「稲毛の浜クリーンデー」を共同主催しました。「稲毛の浜」は夏の遊樂が楽みで、多くの市民の憩いの場として利用されています。全クラブのメンバーが地域の方々と一緒にご参加下さるようお願いいたします。

清掃する稲毛の浜は、全長1200mです。

稲毛の浜クリーンデー実行委員会
事務局 千葉市中央図書館 1-13-14 (株)222ビル内
TEL 043-233-0671 FAX 043-233-0666
Docomo 090-3224-0296-0381
E-mail: gpm@net.tokai.nipponpost.jp URL: http://www2.tokai.nipponpost.jp



水辺のクリーン作戦 各クラブの活動報告

下総中山LC

会長 L.南雲 淳一

今年30周年を迎えた下総中山LCでは市川市の消防当局の協力を得て、市川市西部を南北に流れる真間川の川岸の清掃と救急用ボートによる水中のヘドロ除去を行った。

川岸の清掃は植え込みの中まで徹底的に行い、ボート



組はヘドロと格闘した。ボート組を立ち往生させたのはヘドロの量の多さとその悪臭だった。時間をかなり延長して

ある程度のヘドロ除去はできたが、ボート上での作業は困難を極め、メンバーのほとんどが疲労と悪臭で具合が悪

くなり、活動後に予定されていたご苦労さん会も「一刻も早くシャワーを浴びたい」というメンバーの声に急遽中止したほどだった。

兩岸が綺麗に整備され、花見だ、市民の憩いの場などといってチャホヤしていた街中の川の実際の姿を思い知らされ、その深刻さにただただショックを受け、これまでの環境整備がいかに上辺だけのものではあったかを考えさせられた。



市川北LC

会長 L.斉藤 功

1999年10月8日世界ライオンズ・デー
「水辺のライオンズ・デーに思う」



当クラブは21回目のライオンズデーである。眠い顔をしてメンバーは午前7時JR大野駅周辺の掃除

に入る。1時間余りで掃除を終了し、早朝例会会場へメンバー全員で向かう。向かう先は市川市動植物園正門を入ると右方向に水辺がある。小川には湧き水、上流の自然観察園の方向より流れている。

私達はこの水辺に吸い込まれるように、自然観察園の方でクリーン作戦が始まった。市川にこんな自然がまだ残っているのである。木々の小鳥、また水辺の鳥たちが胸を張って水辺を泳ぎ回っている。池には80cm位の鯉が自然のままに池の中を泳いでいる。素晴らしい自然である。

水辺を歩くとバラの花が赤、黄色と自然にまかせて咲いている。何て素晴らしい朝であろう。メンバー達も水辺を一周して素晴らしい自然に包まれたようだ。

我々も自然を見ると、まだまだ自然という素晴らしい生き方に負けてしまうようだ。水辺の道には落ち葉のジュータン、これこそ秋の風景である。私はメンバーの最後を歩いていた。落ち葉を踏みしめて歩いていると、私の後から誰かが追いかけてくるような音が。それは風と落ち葉が私を追いかける音が「バラバラ」と落ち葉を踏みしめるように聞こえたのである。自然って素晴らしい。私たちがこのように自然と一体になる奉仕活動が出来れば素晴らしいと思う。

地区ガバナー岡野ライオンはこれを言いたかったのであろう。だから素晴らしい自然に向かい「水辺のクリーン作戦」を提唱したのだと思う。

水辺のクリーン作戦も終了し早朝例会に入った。気持ちの良いライオンズ・デーであった。



流山 L C

会長 L. 秋元 勝夫

ライオンズ・デー 運河（水辺の）クリーン作戦

日時 平成 11 年 10 月 8 日
場所 流山 利根運河

かつては、利根川と江戸川を結ぶ物資の輸送ルート。現在は歴史遺産として保存整備されております。メンバー 30 名、2 時間の奉仕で水辺のクリーン作戦として運河土手の清掃を実施しました。

松戸東 L C

会長 L. 米倉 久三

ライオンズ・デー 水辺のクリーン作戦

日時 平成 11 年 10 月 10 日
場所 松戸市子和清水 矢切の渡し付近の坂川べり

朝 9 時よりメンバー総出で、CN 10 周年記念で設置した「親はうま酒、子は清水」伝承の銅像の汚れ落としと、公園及び池の清掃を 1 時間実施しました。銅像は昔の姿をした青年が、手で清水を救って飲んでいる姿勢です。汚れ落としは自分の息子の背中を流している思いです。池には藻が繁殖し、大変汚れており一苦勞しました。毎年実施している事業ですが、池の清掃と管理及び樹木保存について、管理者の市と協議し伝承の地を保全すべくクラブで検討して参りたく思います。

10 時に矢切に移動しました。この地は歌で名高い「矢切の渡し」から小説「野菊の墓」の舞台への



散策場所です。また近年、行政でここを流れる坂川を浄化しました。まだ完全浄化されておりませんが水鳥や鯉、鮒が泳ぐようになりました。川べりに市民の花壇があり、当クラブで昨年さつき 600 本を植栽しました。この手入れと付近の清掃を実施し、青空の下おにぎりを食べ、今後この地に小説の野菊を植えようと話をしながら終了しました。

天候に恵まれ爽やかな一日でした。

印西 L C

会長 L. 小幡 和男

ライオンズ奉仕デー実施報告

本年のガバナー方針【水辺のクリーン作戦】の実施にあたり、印西ライオンズクラブでは場所をゲンジポタルの「自生」する里山地域に決めて 10 月 9 日に実行した。

当日は清掃作業前に「木下ホタルの会」の西谷副会長より「ここは畑と斜面林があり湧き水が豊富であること農薬の空中散布が届かず街路灯が無い等、偶発的な条件が重なって現在千葉県でもめずらしい『自生』するゲンジポタルの



生息地です。」との話を同って、餌となるカワニナと呼ばれる貝を観察しながらゲンジポタルの一生

についての説明を受けた。

その後、約 4 km に渡る湧水の流れる水路を 2 班に分かれて清掃作業を開始



したが、空き缶やプラスチック類の他自転車、冷蔵庫、など粗大ゴミも捨てられており用意したトラックに積みきれないほどのゴミが集まり参加者を驚かせた。

印西市は千葉ニュータウンという大型の開発行為が進行中であるが、幸い造成地が地形的にいて台地の上に限られたため、谷津田と台地の間にある斜面林がいわば天然の公園として見事に残っている。

それが都心に電車で一時間の場所にありながら、自然に親しめるというこの地域の特性を持たせていることに、印西市の住民が少しづつ気づいてきてくれると素晴らしい街になるだろうと、会員同士確認しあった。

今後この運動に印西ライオンズクラブとして、どの様に関わるべきかが残された課題であろう。

※前ページの印西LCの活動が新千葉タイムズ第68号に掲載されました。以下に転載いたします。

蛍の里守ろう～印西LCが清掃奉仕

近郊ではほとんど見られなくなったゲンジボタル。その貴重な生息地が、数年前、印西市で発見された。印西ライオンズクラブ（小幡和男会長）では、十月九日、“水辺のクリーン作戦”の一環として、そのゲンジボタルの生息地で空き缶、ビニール袋などを拾い集める“クリーン作戦”を展開した。

同クラブのメンバー二十人余りが参加し、作業に移る前に「木下ホテル会」の西谷隆副会長（印西市立船

穂中学校長）から、「ここは畑と斜面林があり、湧水が豊かなところ。地形が入り組んでいることから（農薬の）空中散布が届かなかったことや、街路灯がないことがゲンジボタルを生存させている。ヘイケボタルと違って、大きな光を一齐に輝かせて、ゆっくりと飛ぶので、とても幻想的」といった話や、餌となるカワニナという貝を清水の中から拾い出し、参加者に見せながらゲンジボタルの一生についてなどを説明した。

西谷副会長の説明後、同クラブメンバーは湧水が流れる斜面林下の水路（約四キロメートル）を二班に分かれ清掃した。空き缶やプラスチック類の他に自転車、冷蔵庫といった“大物”も捨てられており、参加者をあきれさせていた。

船橋市内LC合同ACT

三番瀬水辺のクリーン作戦

日時 平成11年10月11日

船橋市内ライオンズクラブの合同アクトで海浜公園前



浜辺を清掃が行われた。「空き缶やごみ拾いなどの清掃を市民と共に行い、美しい環境づくりを」とライオンズ・

デーに立ち上がりまし

た。海浜公園前の浜辺は、アウトドア生活を楽しむ都市住民にとっては



穴場的な存在。目の前を大きな外国船が行き交う風景の中、干潟でのカニ捕りもできる浜辺でバーベキューを楽しむ市民も多い。

「美しい自然環境を創ろう」を岡野ガバナーが提案し、船橋では今回初めてのLC合同奉仕活動となった。参加者は100名の他市民のボランティアで、集めたゴミ類は約4トン。

当日は暑い中大変お疲れ様でした。

鎌ヶ谷LC

会長 L. 澤山良一

貝柄山公園の池をきれいにし、

釣り大会を実行して

99年4月、市長と面談した折りに、貝柄山公園の池の水をきれいにし、子供達に釣りをさせたいという話をしたところ、市長から「やってみたら」という意見をいただきました。



早速、特別委員会を設け、計画を立て実行のアドバランを打ち上げた

ころ、自然保護団体から反対を受けました。二度の交渉の結果、小沼の隣のせせらぎでやることについては反対しないということになり、そこで実行することにしました。



この新しいACTは、岡野ガバナーの掲げる「美しい自然環境を作ろう」という趣旨に合致する物だとし、ライオンズデーの先取りということで、8月8日（日）全員参加でせせらぎの掃除をしました。14年間堆積していたヘドロを取り除き、水は非常にきれいになりました。

前日の8月20日（金）午後1時、700匹のニジマス

放流した後、二つのキャンプテントを張り、7名で一晩中監視することになりました。

当日8月21日(土)には8時頃から子供達が集まり始め、10時の開始予定を繰り上げて9時に開始しました。最初の内は調子よく釣れて、一人二匹をもって次の人と交替してもらいました。昼頃から釣れ具合が悪くなり、午後2時をもって水を抜き、残った200匹位のニジマスの掴み取りに変更しました。30分間ほど子供、親及

びメンバー全員が水の中に入り、歓声を上げ我を忘れて掴み取りに没頭しました。なお、参加人数は親も含めて300人程度でした。終了後、メンバーの経営する「仁陣」にて反省会を込めた移動例会となり、ビールを痛飲して三々五々、2次会へと散りました。

来年も是非継続ACTとして実行したいと考えております。

旭LC

会長 L.加瀬 欽造

ライオンズ・デー奉仕作業実施

日時 平成11年10月8日



旭ライオンズ公園の清掃作業を実施した。参加メンバーは45名で草刈り、枝切り等の作業を行った。また、本年度のガバナー方針である「水辺のクリーン作戦」の一環として、ライオンズ公園付近の小川の周辺の草刈りなどを行った。



山田町LC

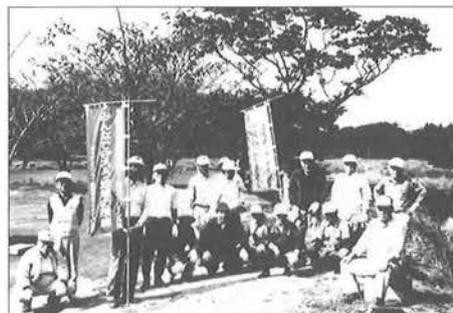
会長 L.千葉 忠治

山田町ふれあい公園 橋池清掃

日時 平成11年10月9日



山田町ライオンズクラブでは10月9日のライオンズ・デーに近隣の山田町ふれあい公園内、橋池の周辺を清掃しました。天候にも恵まれ、気持ちのいい奉仕活動でした。



夷隅 LC

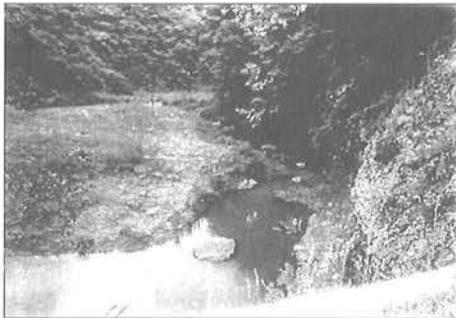
会長 L. 中村 庸一郎

ビオトープの建設にあたり

自然環境の復元

当地域の里山は自然豊かな地域であるが、ダム建設により水辺の野生生物が水没して失われることになった。その為我々 LC は生物の生息環境を少しでも復元できればとの願いを込めて、休耕田を掘り下げ、池、湿潤地及び小丘を作り自然環境の整備を実施した。

計画設計の図面等もなかったが、クラブ員皆でイメージを出し合い概念図を作り何度も修正しながら基礎の整備をし、更に動植物の移植も試みた。当初、休耕田にはゴミが散乱し、小水路には十分な水深もなく、生物がすみやすい場所とはいえなかった。しかし、クラブ員の手



により整備され、上・下に2つの家を配置し、水辺にはゆるやかな斜面になるように造成した。また、水の中には在来の石を、小丘には穴倉を作り小魚や小動物の休憩所となるようにした。尚地域内の植物（タコノアシ）を移植したり、ハヤ100匹、メダカ70匹、サンショウウオ20匹、イモリ30匹を放流した。

次第に水辺の植生は繁茂し、10cm～20cmの魚が群をなすようになりカエルもおよぎまわるようになった。岩盤を掘削して盛り上げた小丘にも野生の草が徐々に茂ってきた。尚、11月中旬頃、ビオトープ周辺には川津桜を300本くらい植樹する予定である。

でき上がったビオトープが少しづつ月日が経ち、岸辺の植物や水草が生成し小さな魚やおたまじゃくし、カエル等が池の中をおよぎまわるようになると、我々も含めて現代人はもっと、身近な自然の大切さに目を向ける必要があるのではないかと感じられた。

茂原 LC

会長 L. 吉野 勝一

竹炭による水質浄化作戦

日時 平成11年10月8日

場所 茂原公園弁天池

茂原 LC では10月8日ライオンズ・デーに市内の茂原公園において、公園内と周辺の清掃作業を行いました。それと平行して今回は水辺のクリーン作戦ということで特に公園内の竹炭（クラブ活動のコーナーに報告した天の炭）を用いた弁天池の水質浄化作戦を実施しまし



た。

竹炭をネットに入れたものをコンクリートミキサーにいれ、そこへポンプで池の水を汲み入れ竹炭を通しコンクリート作業用の樋で池にもどす作業で、約3時間行いました。それから池に浮かぶ弁天島への橋からやはり

竹炭の入ったネット30袋をつり下げ、また弁天島の周りにもロープで竹炭ネットをつり下げました。炭は水中の有機物を吸着し水質浄化と悪臭の除去に役立つことが知られています。市民の憩いの場としての弁天池を少しでもきれいに出来ればと願っています。

長柄LC

会長 L. 廻谷 正夫

長柄ダム水辺のクリーン作戦を実施して

長柄ダムの上は、自然休養村センターになっていて町の管理となっている。

時折、ここを会場として使用したときなど、部屋から下のダムを眺めることがあった。

ダムは広いな、素晴らしいところだなあと思っていた。

はからずも10月8日、今日水辺のクリーン作戦と言うことで、この長柄ダム周辺の廃棄物などを收拾する作業をすることになった。

午前8:30の定刻には会員はすでに集まっていた。当日のいでたちは、作業衣、長靴、それに物を挟む物を各自持参し、颯爽としていた。作業にかかる前に私は10月8日の水辺のクリーンデーについて、次のことを簡単に述べることにした。この10月8日の奉仕デーは、ライオンズクラブの創始者である故メルビンジョーンズ氏がアメリカのダラス市で第一回の会合を持った日で、これを記念としてライオンズクラブの奉仕デーにしたと言われている。どうぞ皆さん怪我のないように充分注意して下さい。ではお願い致します。

幹事よりそれぞれ收拾物を入れるポリ袋が渡された。

皆でダムの下へ降りていった。車が交差できるように舗装されて、危険防止のために端の方には丈夫な鉄柵が張られてあった。

私たちは、まず道路側の廃棄物を集める事にした。道路の端にもポリ袋に包んだ缶ビールの空き缶、ガラス瓶、ペットボトルなどが投げ捨てられてあった。

鉄柵を越えて、ダムの水辺へ行くと石積みの間にも空き缶が投棄されている。どうしてこんなに公德心のない人々がいるのかなと独り言が出る。配られたポリ袋は一杯になって手際よく結び、道路の端の方へ置かれてある。配られたポリ袋は12~3枚だったが、まだ2、3枚残っているようだ。疲れるので適当に休んでいる。私も水辺で一服くゆらす事にした。

坂の上の部屋で眺めたダムは素晴らしいが、ダムの敷石に座って見るダムも、また趣のあるものだなあ

と思った。先の方に若い夫婦ものらしいのがダムへ釣り糸を垂れている。何が釣れるのかな。

ダムのクリーン作戦も距離からすると、200~300メートルぐらい歩いたようだ。

今一息頑張ろうと立ち上がった。皆それぞれ両手にいっぱい詰まったポリ袋を下げて来る。

内容は空き缶やペットボトル、他に瓶や古雑誌などだが、それでもかなり重いものだ。話によると皆は休みながら持ってきたと言っている。時間もだいぶ経過しているので引き揚げる事にした。

事務所へ連絡すると折良く廃棄物担当者が車で来ていた。担当者は私たちの集めた廃棄物を見て、大変でしたね。こんなに沢山と言っていた。私たちはすぐに、燃えるもの、燃えないものなどそれぞれ手分けして整理した。

後は私たちがやりますからと言って車へ積み込んでくれたので私たちもほっとした。

事務所の方からも女子職員が出て来て、私たちへ「皆さんご苦労様でした、この前の部屋をどうぞお使い下さい。」と言ってくれた。

さてここで申し上げたいのですが、先日の新聞で、この長柄ダムの周辺に大型のストアが出来るという記事があった。多数の人々がこのダムの周辺に集まってくることが予想される。この長柄ダムの水は鉄管を通して南房館山方面まで伸びて、住民の飲料水になっている。この大店舗の出現によって、このダムの水は汚染されはしないだろうか心配である。



東金LC

会長 L. 稗田 新

10月9日 ライオンズ奉仕デー (水辺のクリーン作戦)

東金の名所「八鶴湖」も、今は市の浄化行政により周



りの遊歩道も整備され、大変きれいになった。桜の花見時期ばかりでなく、何時も市民の多くの人達が散歩やジョ

ギングに来ている。その一角にライオンズ広場があり、その前の水



辺には市の観光協会によって「あやめ」や「花菖蒲」が植えられている。水辺には水草の「ほていそう」もあり、葉の奥で綺麗な花を咲かせていた。多くの蛙たちが我々に驚いて水草の中へ隠れていった。雑草も虫も小動物たちには必要な生息の場と思い、軽く刈る程度にしてゴミ拾いをして作業を終わった。散歩中の人達が協力してくれたのは大変嬉しかった。

1. 啓蒙チラシの配布について

昨年同様にキャビネットで啓蒙チラシを作成し、取り敢えず各クラブ100枚宛て（無料）送付しますので、下部のライオンマークのある空白箇所にクラブ名を表示の上、比較的青少年の集まる場所、あるいは献血活動などの際に有効活用を願います。
また、千葉県で作成した「ダメ・ゼッタイ」のチラシも100枚送付しますので、必要に応じ活用願います。

2. 車両用ステッカーの使用について

車両用の啓蒙ステッカー（マグネットシート）を各クラブ10枚宛て（無料）送付しますので、会員の比較的頻度の高い車両に貼付して使用願います。

3. 研修会について

2000年2月上旬に「薬物乱用防止教育指導者」の養成を目指す研修会を実施する予定ですので皆様方の参加をお願いいたします。
なお、チラシ、ステッカーの追加分については有料ですがキャビネットにご請求下さい。

※指導者講習会は330複合地区がすでに実施され大きな成果を上げられているそうです。



今回クラブに配布されるマグネットシート
色は赤地に白抜きで
下部に「ライオンズクラブ」と入ります

B地区の薬物乱用防止運動が活発化 → 全国組織づくりを提案へ

麻生国際理事候補を擁するB地区（茨城県・栃木県）では薬物乱用防止運動の継続と定着のために複合地区の枠組みを超えた連絡会的全国組織づくりのための準備を開始された。

すでに331・337を除いた6複合地区の実務者レベルの会合を持ち、意見交換会を開催しているようだ。

LCでは単位クラブや準地区、複合地区レベルの活動ではどんなにがんばっても厚生省や国、警察庁などを動かすことは難しい。これに対し全国組織を有する青年会議所などでは、テーマ別に各省庁の大臣や次官に意見書を提出したり、意見交換会を持ち、政策に反映させる活動を行っている。

より効果的な活動を展開するためにこのようなテーマ別全国連絡会づくりはどんどん進めてほしいと思うが、日本ライオンズというまとまりに否定的な国際協会側の理解が得られるかどうかの問題だと思う。



薬物乱用防止グッズのマスコット
“ダメゼッタイ君”

LCの薬物乱用防止キャンペーン用品がほしい!!

昨年度、笹本前ガバナーのご指導によりC地区全クラブが展開した「子どもたちを薬物乱用から守ろうキャンペーン」は国連の麻薬撲滅の10年（1999年～2000年）に対応する形で、厚生省や警察、各都道府県等が中心になって展開してきたダメゼッタイ運動を側面援護を目的とした活動だった。

この活動のためにC地区がパンフレット、のぼり、ティッシュ、封筒などを用意してクラブに提供し駅頭街頭での呼びかけを行ったわけであるが、1991年から全国で9年間も繰り返された国レベルの事業のわりにそのためのキャンペーン用品はほとんどない。苦勞して自分たちが用意したティッシュなどもその場限りで終わってしまう。キャンペーン用品があればいいのに、...

そう考えた上総一宮LCの中川都弘Lはご自身の会社で「ライオンズクラブのニーズに応え安価で便利な用品の開発」に取り組まれている。

その第一弾として以前に交通安全運動のために開発された自動車用マグネットシート（初心者マークと同様な素材）を薬物乱用防止運動用に応用され販売活動を開始された。

今回地区PR情報委員会で中川Lにこの取り組みのきっかけ・目的と将来に向けた夢についてインタビューしたので紹介したい。

お話し： L. 中川都弘
 (地区LCIF委員長・
 上総一宮LC)



聞き手： L. 吉原稔貴
 (地区PR情報委員長)



L 吉原 薬物乱用防止運動のマグネットシートをつくるきっかけは何だったんでしょうか？

L 中川 一昨年度私が10R1ZのZ幹事だったときにZCからZ内合同で交通安全運動をやりたいと提案があり、のぼり、ティッシュ、そしてマグネットシートを制作してZ内8クラブ一斉に活動を行いました。購入したマグネットシートを各クラブに配布して車に付けながら、茂原中央LCのメンバーの方と「薬物乱用防止のシートがあればいいのに」と話したのがきっかけです。

L 吉原 その時点では薬物乱用防止グッズはなかつ

たわけですね。

L 中川 はい。交通安全運動は全国規模の運動として歴史もあり、いろいろなグッズが揃っていましたが、薬害関係は当時全くなくて、それじゃあ特注で作ってもらおうとしたのですが値段が高くてダメでした。

L 吉原 競争の少ない業界のようですからね。それで、そのときは諦められたわけですね？

L 中川 そうです。そうこうしているうちに昨年度、笹本前ガバナーが薬物乱用防止の大キャンペーンを展開されて、やっぱりどうしてもあのシートをつくりたい(!)ということに

なりました。ちょうどまい具合に新橋でゴム関連用品の製造販売をしている友人から基になる材料が手に入るようになって、それじゃあ自分でつくってみよう準備を始めました。

L 吉原 実際つくられてみて、いかがでしたか？

L 中川 地区内の各クラブへ案内を出しましたが、



マグネットシートの装着例

近隣クラブ以外まったく反応がありません。また、私のようなメンバーがLC相手に商売するのは怪しからんという声もありました。

L 吉原 それは恐らくこの企画の趣旨とご案内の意図が伝わらなかったのでしょうか。「怪しからん」は3つのS（政治・宗教・商売）は御法度という意味だろうと思いますが、こういうものは逆に活動に携わっているメンバーでないといいものがつくれないと思いますが...

L 中川 ちょうど岡野ガバナーの公式訪問があって席上お話ししたら、ガバナーから「素晴らしい企画なので地区薬物乱用防止委員長さんと相談して各クラブにお配りしてご紹介したい」というご提案をいただきました。

L 吉原 ちょうど国際理事候補に麻生Lを推しているB地区が、薬物乱用防止運動を全国規模で展開しようという動きが活発化していますので、そちらにもご紹介したいですね。そうなるともっといろいろな品揃えが必要になるとありますが...

L 中川 今回は一昨年度のZ合同交通安全運動からの流れでマグネットシートにたどり着いたわけで、ぜひとも多くのクラブにご活用いただきたいと思います。これは自動車を利用して

市民に呼びかけるための仕掛けで、同時にライオンズクラブのPRにもなります。

L 中川 一方で若年齢化する薬物乱用を未然に防ぐためには、例えば小学生のカバンに貼れる小さなステッカー（シール）などが有効だと思います。例えば一枚50円のシールを近くの小学校に贈るとします。仮に児童数が500人として全部で2万5千円で済みます。もちろん教育委員会などの了解を取った方がスムーズでしょうが、今どこの自治体も財政が厳しいので学校に対するこういったアプローチは概ね歓迎されると思います。

仮に自分のクラブのエリアに5つ学校があったとして12万5千円で全員配布できます。図柄をエリアごとにかえたり、図柄のコンクールを開いたりという工夫もできます。

L 吉原 そうなると全国規模で展開しても面白いですね！

L 中川 私は子どもたちが巣立って夫婦二人の生活ですので、この事業に利益を求める必要はありません。多くのクラブ、メンバーのお役に立てて、かつ薬物乱用防止運動がより効果的に展開されることを望むばかりです。C地区のメンバーのみなさんからのご意見、ご提案をいただいて、よりよい用品のご提供を目指していきたいと思っています。

L 吉原 ありがとうございます。多くのクラブがマグネットシートを活用して薬物乱用防止に取り組まれるようお祈りしています。



マグネットシートのバリエーション（一部）

第2回キャビネット会議議事録

1999年11月20日(土)千葉県労働者福祉センターにおいて開催されたライオンズクラブ国際協会333-C地区1999～2000年度第2回キャビネット会議の議事の結果をご報告いたします。

尚、当日の出席者及び挨拶、あるいは各委員長の報告、意見などの概略はキャビネット会議資料に掲載されている通りです。同資料をご参照下さい。

1999年11月24日

ライオンズクラブ国際協会333-C地区

地区ガバナー L.岡野 正義

ガバナー提出議案

第1号議案 次年度地区ガバナー候補者推薦の件

333-C地区の次年度ガバナー候補者として、地区内10リジョン全てから推薦書の提出がありました。現副地区ガバナー L.木下 務(船橋LC所属)を推薦致したく提案致します。

【決議】 提案の通り承認可決



L.木下 務

第2号議案 次年度副地区ガバナー候補者推薦の件

333-C地区の次年度副地区ガバナー候補者として、地区内10リジョン全てから推薦者の提出がありました。L.後藤 隆一(柏中央LC所属)を推薦致したく提案いたします。

【決議】 提案の通り承認可決



L.後藤 隆一

第3号議案 333複合地区国際理事候補者推薦の件

333複合地区の2001年度～2003年度の国際理事候補者として、その所属する333-B地区大会での推薦決議を得ることを条件として、L.麻生貞市氏(小山LC所属)を推薦致したく、提案致します。

【決議】 提案の通り承認可決



L.麻生 貞市

第4号議案 年次大会議事規則等承認の件

年次大会議事規則、大会予算案、議事運営構成表、決議委員会分科会担当委員を別紙の通り決定致したく、提案致します。

【決議】 提案の通り承認可決

第5号議案 LCIFに対し資金交付申請の件

LCIFに対し、次の2件の資金交付を申請することと致したく、提案致します。

- 1.(財)千葉県アイバンク協会が必要とする、スペキュラー・マイクロスコープ購入資金3,208千円支援アクティビティ資金として、LCIF視力ファースト援助資金12千ドル(約1,320千円)の交付を申請する。ただし、残については地区内各クラブの任意の寄付等により賄うものとする。

2. カンボジアのプノンペンオーバイコーン・ライオンズクラブとの共同アクティビティとして、同国コンボン県コンボンチナン郡プリアタアヴィア小学校校舎を建設し、贈呈する資金として43千ドル(約4,730千円)について、LCIFの任意の寄付金などにより賄うものとし、現地での認可、監理等についてはプノンペン・オーバイコーンLCが担当するものとする。(地区青少年指導・国際協調交流委員会提案)

【決議】 提案の通り承認可決

委員長提出議案



地区献眼・視聴力保護等社会福祉・
アイヘルス委員長
L.霜 礼次郎(千葉LC)



1. ご家族全員の同意を得ての献眼登録と(財)千葉県アイバンク協会に、本年度も単位クラブの自主的なご判断により、クラブまたは個人のアクティビティとしてご支援を賜りたく、ご勧奨をして頂きたく宜しくお願い申し上げます。

ライオンズクラブ・アイヘルスアクティビティの中の重要な項目であるアイバンクに対して(財)千葉県アイバンク協会設立(1985年)以前から333-C地区の皆様のご多大なご支援とご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

同協会へは昨年度373名の方が献眼登録して下さい、開設以来の登録者は14,905名となりました。また7名の方が献眼して下さい、解説以来の献眼者は199名となりました。

機会あるごとに職場や、LCの例会でアイバンクの話題を取り上げて頂き、またご家庭の方々とも充分にお話し合い頂き、ご理解とご同意をして頂くことが重要と思われまます。

益々のご支援とご協力を頂きたくお願い申し上げます。

2. 日本網膜色素変性症協会(JRPS)に単位クラブの自主的なご判断により、クラブまたは個人のアクティビティとしてご支援を賜りたく、ご勧奨をして頂きたく宜しくお願い申し上げます。

ライオンズクラブ・アイヘルスアクティビティの中の重要な項目として、333-C地区の皆様から、日本網膜色素変性症協会(IRPA)の日本支部として、1994年5月に千葉大学医学部眼科の安達恵美子教授を中心として設立され、日本も遅ればせながら世界の仲間入りをし、その後本当にLCのご支援のお陰で1996年1月には、網膜色素変性症は厚生省の難病指定を受けることが出来ました。同年からはこの遺伝子異常に起因している病気の治療法を早く発見して頂くために、新進気鋭の研究者6名にJRPS研究助成をする事が出来、更に2002年には、IRPAの世界大会が日本で開催されることも決定(予定於：幕張メッセ)致しました。

益々のご支援とご協力を頂きたくお願い申し上げます。

【決議】 提案の通り承認可決



クラブ活動のページ

今年の「クラブ活動のページ」は各RのPR情報委員さんがしっかり情報収集をしてくださっているので、投稿が多く嬉しい悲鳴状態です。しかし、多い情報をただ羅列したのでは、読まれる側は読む気がおきないだろうと思いますので、今回から特集に関連したクラブ記事は特集の中に組み入れることにしました。ですから、このコーナーに記事がなくてもあわてないでください。

原則として受け取ったクラブ記事は全部載せます。ですから投稿したけれどこのコーナーにない場合、特集を探し、それでもなければ地区委員長までクレームをお願いします。

ただし、記事としてでなく、クラブ会報を送られた場合、扱わない場合もあります。もし、クラブ会報記事からの転載をご希望の場合は、「どの記事を載せて」と一筆書き添えてお送りください。よろしくお願い申し上げます。

1 R

浦安LC

会長 L・長野 敏樹

第18回浦安LCチャリティゴルフ大会

日時 平成11年9月27日

場所 姉ヶ崎カントリー倶楽部

目的

青少年の健全育成

社会福祉に助成

国際親善交流に助成 以上の3本柱

方法



LCメンバーが参加者を集める

また、LCメンバーの寄付並びに地区の企業よりの寄付など120社を越えるご寄付をいただきます。

毎年参加を楽しみに待っていて下さる方々も多数おられます。

2 R

松戸LC

会長 L・林 護

事業資金獲得バザー 秋の市内一斉清掃

日時 平成11年10月

場所 松戸市松戸駅前広場

10月2日の「松戸まつり」で資金獲得バザー、慣れない手付きの包装でもメンバーは一所懸命。メンバー所属グループ製作の絵画の販売も試み好評でした。



10月24日は市内一斉クリーンデー。松戸駅前にてふだん家では見せない奉仕活動を行いました。

流山LC

会長 L.秋元 勝夫

夏期YE生受け入れ

日時 平成11年7月14～24日

場所 流山

スロバキア国からのYE生ヤナ・チェメリチコワさん。7月11日から31日、ホスト家庭江原宅に滞在。会席料理や蕎麦など日本食を堪能。スポーツ万能、歌や踊り大好きなヤナさん盆踊りにも挑戦。好きになったとのこと。



東深井地区盆踊り大会に参加(秋本L、江原Lのお孫さんも一緒に)ゆかたが大変よく似合っております

野田LC

会長 L.吉沢 武

老人ホーム慰問

日時 平成11年10月19日

場所 楽寿園

10/19 特別養護老人ホーム「楽寿園」を慰問、当日は握りたてのお寿司と焼きたてのうなぎを食べた後、歌手による歌謡ショーと、お年寄り



と会員の歌とおどりに楽しいひとときを過ごした。

関宿LC

会長 L.後藤 裕亮

身体障害者一泊研修旅行

日時 平成11年8月1～2日

場所 茨城県さしま少年自然の家

この事業は、日頃家にこもりがちな身体障害者に、外に出て大勢の人とふれ合う機会を与えることを目的としており、数年間実施しております。私はPR情報委員として初めて参加させていただきました。

当日の参加者は、青少年の身体障害者関係45名、ボランティアグループ19名、関宿LC17名

(ほぼ全員)ゾーン内クラブ三役とZC、RCでした。ボランティアグループの手によるゲーム、ソング、紙芝居と非常に楽しく賑やかな集会でした。

いつの間にか、子供も大人も、いかついメンバーも童心に帰っておりました。会員の少ないクラブが、ボランティア団体と協力して、価値ある大きな事業を実施していることは、これからのライオンズクラブの一つの在り方かと思われま。後藤会長は、家にこもりがちな身体障害者に参加して戴くのがなかなか困難であり、今後の課題であると話しておられました。

(PR情報委員 L.水野 武明)

船橋LC

会長 L.大石 忍夫

カンボジア支援

8月2日(月)市内小学校より収集した小さくなった運動靴をカンボジアの小学校に贈るための箱詰め及びコンテナにつめ込む作業を行った。

会場 下川家具店倉庫 206箱
メンバー協力 12名



船橋東LC

会長 L.田辺 勉

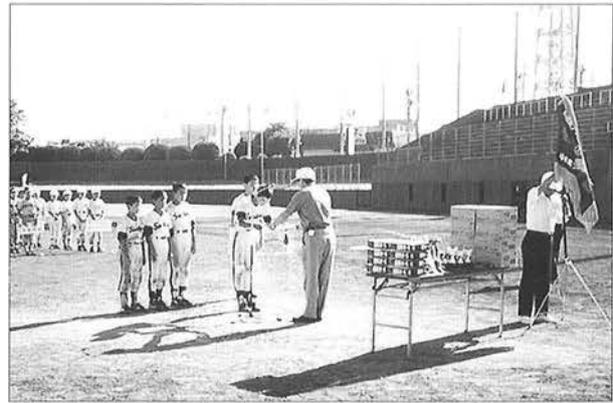
第7回船橋東ライオンズ旗争奪戦少年野球大会

我々ライオンズクラブの活動で誤解されやすいのは、「会員の方々はお金持ちであり寄付を行う団体である。」と思っている一般の方々が多いことでもあります。

その点、あまりお金をかけないで子どもたちと一緒に行動しライオンズクラブの活動を理解させるような行動も必要と思われまます。

まさに地域活動の一環として少年野球大会も良きPRの活動と思われまます。

我々船橋東ライオンズクラブの活動地区、船橋市の東の地区、習志野、三山、七林、高根台、大穴、三咲、松が丘町会などを中心に春から一生懸命練習してきた成果や野球少年達の夢と希望をかなえる機会を与えてやりたいと思い、我がクラブでは少年野球



大会を行っております。これをこの地区の野球少年達の「ミニ甲子園」と位置づけ各地区を4ブロックに分け各地区から代表2チーム計8チームで「船橋東ライオンズクラブ旗争奪戦」を船橋最大の野球場である船橋市運動公園のメイン野球場で8月7日(土)、8日(日)の2日間行いました。

初日の7日は途中からの雨で一部の試合はナイターで行いました。

また今年の優勝チームは船橋でも最強チームと呼ばれる三山スーパーヒーローズが昨年到现在の連続優勝でした。

やはり子供達にライオンズクラブとは「何をやり、どんな活動をしているのか」を目で見て身体で知ってもらうことであり挨拶の中でも麻薬の恐ろしさ、怖さを説き、またこの少年野球大会のように青少年育成のために、このような立派な大会もやっているのがライオンズクラブであることを分かっていただけだと思っております。

(船橋東LC 青少年育成委員長 L.植野英男)



習志野中央 L C

会長 L・宮城 二男

ライオンズクラブのユニフォームで国際親善

日時 平成 11 年 8 月 24 ～ 28 日

場所 韓国

8 月 23 日から 29 日までの一週間、習志野市中学生選抜サッカーチームの 22 名が韓国に遠征しました。これは、2002 年のワールドカップ共同開催を記念し、韓国中・高校蹴球連盟の招待により実現したものです。

習志野中央ライオンズクラブが寄贈したユニフォームを着て、韓国の中学生チームと親善試合を行い、4 勝 1 敗 1 引き分けの成績で帰国しました。



NARASINOCHUO LIONS CLUB のユニフォームで試合した選手たち

一番身近な外国について理解を深めると共に、スポーツを通じて若者同士の親密な国際交流が出来たことと思います。

八千代東 L C

会長 L・津端 英男

薬物乱用防止キャンペーン

青少年健全育成事業の一環として毎期、薬物乱用防止キャンペーンを八千代市内の中学にて行っております。

今期は勝田台中学校、村上東中学校、高津中学校、阿蘇中学校、村上中学校に行きました。このうち勝田台中学校は 7 月 1 日、村上東中は 7 月 2 日、高津中には 7 月 8 日、延べ 19 名で行って参りました。

ライオンズクラブで作成した薬物乱用防止ビデオ



会員中嶋征男 L が煙草を吸う人の肺の汚れを見せているところ



今期会長 L・津端英男がライオンズクラブの紹介をしている所

の一卷を放映し一卷を贈呈してきました。ビデオ放映後、八千代警察署生活安全課の方が事例の話、当クラブ会員が煙草の害などの話をし、生徒さんの発言があってキャンペーンを終わりました。

(PR 情報委員長 L・木村 淑志)



千葉ゆうきのLC

会長 L.佐々木美智子

千葉市少年合気道連盟体技審査会を観戦して

日時 平成11年10月31日

場所 千葉市武道館

10月31日(日)千葉市武道館に於いて合気道大会が開催され、当クラブからも佐々木会長はじめ多数のメンバーが応援に参加しました。大会では小・中学生を中心に大勢の少年少女たちが一堂に集まり、日頃の練習の成果を披露し審査を受けるのです。初めに指導の先生方の迫力ある演技と型の説明があり、続いてそれぞれクラス別により子供たちの競技が行われました。

合気道は力強く、動きに無駄がなく簡潔、しかも流れるようなリズムもあり俳句を連想させるような



スポーツだと感じました。

今日この頃ではポピュラーと言えないような合気道ですが、子供達の精神面や基本的な生活習慣、態度にもプラスが多いと思われま

す。青少年の健全な育成に大いに貢献している合気道を、今後もクラブで「支援していきたい」と再確認した一日でした。(市民教育委員長 L.高根 美子)

千葉市立第2養護学校運動会の

お手伝いに参加して

日時 平成11年10月3日

場所 千葉市立第2養護学校

10月3日(日)千葉市立第2養護学校の運動会の日です。朝からの雨に心配しましたが、次第に晴れ間が覗き無事開催することが出来ました。養護学校からの依頼により、千葉ゆうきのLCからお手伝いに馳せ参じたメンバーは8名、千葉京葉LCからのメンバーの方々と共にグラウンドに予定通り勢揃いしました。



校長先生のご挨拶に始まり、選手宣誓、紅白の応援合戦とプログラムは進みます。とはいえ障害を持つ生徒たちのすることなので指導の先生方がつききりです。生徒と先生と一緒に走り、一緒に動く。競技の途中で家族の方へ行ってしまう子、反対のコースへ走りだしてしまう子、もう先生方は大変です。

でもみんなニコニコ笑顔です。校長先生が「Aさん、がんばれー、Yさん、うまいよー」と大声で声援を送っています。家族は皆立ち上がって子供達に声をかけています。何と楽しく、心暖まる運動会でしょう。

私は得点係です。赤、白と得点する度に、麒麟さんの首が長くなっていきます。他のメンバーたちはグラウンドに用具の運搬、使用済みの用具の整理、リレーのゴールのテープ係と忙しく動いています。最近ボランティアの大学生の応援もありお手伝いも活気があります。秋の陽射しの中で顔の焼けるのも忘れて一緒に楽しむことが出来ました。

この生徒たちが本当に幸せに、そして強く生きていって欲しいと心から願いつつ帰路に着きました。また、ほのぼのとした学校全体の空気に包まれてメンバーの皆様方も心暖まりましたこと、ここに付け加えます。(社会福祉副委員長 L.清野 三枝子)

茂原LC

会長 L.吉野 勝一

茂原七夕祭りの主役 竹飾り変身「天の炭」

この度茂原ライオンズクラブでは、茂原市の最大イベントである第45回茂原七夕祭りの主役竹飾り（孟宗竹）を竹炭としてリサイクルするため、クラブメンバーが竹割りから窯入れ、製品の袋詰めまで行いました。この竹炭を、七夕の天の川に因んで「天の炭」と名付け、販売いたしました。「天の炭」には炊飯器に入れてご飯を香ばしく炊きあげたり、部屋や冷蔵庫を消臭する等の効果があ

ります。

価格は以下の通りです。

(天の炭) 1袋
350g 300円
(竹酢液)
大500円 小200円



茂原ライオンズクラブではこの収益金を、住みたい街茂原市の青少年健全育成推進、社会福祉慰問事業資金に使わせていただきます。

ライオネスコーナー

去年はライオネス、レオのコーナーを設けましたが、今年はクラブ活動のページのひとつのコーナーとしてそれぞれの活動をご紹介させていただきます。LS、LEOとも活動の活性化のために地区ニュースをご活用ください。やはり自分たちのことが活字になってしっかりした装丁の会報に載ると嬉しいものです。活動を支援しているライオンズクラブの皆様もぜひ投稿をすすめてください。

柏ライオネスクラブ

会長 LS. 滝本二三江

柏まつりに参加して

7月最後の土曜日、日曜日、市民こぞっての柏まつりが行われました。真夏の太陽がきらきら照り付ける24日、25日、前日の準備から3日間柏ライオネスクラブメンバー全員、力を合わせての参加でした。

毎年の事なので、ポンプの扱いも手際良く、色とりどりの水ヨーヨーが山のように出来上がりました。

黄色い声を張り上げてお客様の呼び込みをする人、1回100円で2ヶ釣り上げる子供さんたちの歓声に、汗だくだくの大奮闘、予定以上の売り上げに、疲れも何のそのです。



例年この売り上げと、次回のバザーの収益とを併せて、市の福祉へ3台の車椅子の寄贈をしています。

今年は結成10周年の記念に、目標は10台です。

柏LSC会長 LS. 滝本二三江
幹事 LS. 平井しず子

船橋中央ライオネスクラブ

会長 LS.石神 悦子

肢体不自由児父母の会 お手伝い

日時 7月24日～25日

場所 船橋市本町通り産業まつりジョイ&ジョイ

肢体不自由児得意のヤキそば、ミソおでん出店の風景です。猛暑の中頑張っています。(働き者の笑顔が素晴らしいでしょ?)

何事にも一生懸命が大好きな、私たちのクラブです。

船橋市本町通りの産業まつりジョイ&ジョイでは、市内の商工業者によるフリーマーケット、パカ面踊り、太鼓、盆踊り、パレード、模擬店など毎年盛大に行われています。

今年も流した汗を拭き心地良い疲労感を味わい



ました。(お祭り大好きメンバーたち)

いろいろな人と素敵な出会いをし、爽やかな人生を送りたいと願う私たちは、ライオネスクラブの会員になって本当に幸福です。

第245回 ゆかた例会

日時 8月18日



親クラブの皆様をお迎えし、会員予定者2名を招いて、第245回例会「ゆかた例会」を開催しました。ビンゴ・カラオケ・ジャンケンゲーム・盆踊り・社交ダンス・マカレナからマジックなど、あっという間の2時間でした。

(左) 増強委員長 石神敬子LS

(中央) 鶴巻さん

(右) 前島さん

Vのサインで楽しみですね……

若さとパワー・知恵を発揮して下さい
ことと信じております



少々アルコールでしたが、年齢を忘れ楽しさ2倍になりました。右の写真は例会最後に記念撮影したものです。屏風の前でなんとアンバランスに素敵でしょう?

私達は奉仕に、事業に、遊びに精一杯頑張っています。

(追伸)

私たちの例会では、どんなことでも話したり尋ねたり、必ず全員が一言発言するようにしています。与えられた時間内にできるだけ効果が上がるように努力を続けています。会員は16名、うちチャーターメンバー10人ががんばっています。

船橋中央ライオネスクラブ

チャリティダンスと音楽の夕べ

日時 平成10年11月20日 場所 フローラ西船

目的……船橋市緑の基金、千葉県青少年育成基金

内容……船橋市公民館（ダンスサークル訪問）

演奏

日本大学舞踊部 チャリティという事で毎年応援
していただいております。

方法……食事タイム（30分）の間にラッキーカー
ドを配布し、会場にてドリンクの販売を行って
います。

苦労した点……チケット販売

反省点……男性が少ない

親クラブの皆さんの暖かい見守りがあったからこ
そ開催できました。

千葉ゆうきのLC・船橋さざんかLC・船橋ポー
トLC・船橋グリーンLC・船橋シニアLC・市
原南LS及びワールドナーシングホーム 肢体不
自由児父母の会の皆様が応援してくれたからこそ
開催することが出来ました。

感謝しております。本当に有り難うございました。

本年度も例年通り開催する運びとなりました。



【事業のご案内】

チャリティ『ダンスと音楽の夕べ』

日時 2000年1月21日（金）

PM6:30～8:30（PM6:00開場）



場所 フローラ西船

演奏 林静清とシーフレンド

主催 船橋中央ライオネスクラブ

協賛 船橋中央ライオンズクラブ

後援 船橋市

ご多忙中誠に恐縮ではありますが 昨年同様皆
様のご支援ご協力をお願い申し上げます。期待
しております。

ご入会おめでとうございます!

新入会員ご紹介

新入会員・名物会員紹介、物故しを偲ぶコーナーは昨年度途中で笹本ガバナー(当時)からご提案をいただきましたが、残念ながら各クラブへの呼びかけの機会がなく実現できませんでした。そこで今年度からスタートします。まだまだ投稿数は少ない状態ですので、クラブ活性化のためにぜひ各クラブ会長さんのご協力をお願いしたいと思います。

せっかく地区ニュースに載せるのですから、新入会員の方には「思いっきり笑顔」の写真をご提供いただければベターです。

ほ と だ まさる
保 戸 田 優

浦安LC
(有)堀千代
貝類加工業
入会日 平成10年11月26日



よし だ たかし
吉 田 孝

浦安LC
浦安宇部生コン
生コンクリート製造販売
入会日 平成11年6月8日



たか つ みつ はる
高 津 光 晴

浦安シーサイドLC
(有)唯善 代表取締役
入会日 平成10年7月27日



こ まつ よし みち
小 松 慶 典

浦安シーサイドLC
(株)マリーナトレーディング
代表取締役
入会日 平成11年6月23日



とみ よし たか
富 吉 隆

柏グリーンLC
昭和37年6月2日生 37才
自宅 柏市柏の葉2-1-10
血液型 A型
家族 妻みどり 子供3人
(長女・長男・次男)
勤務先 (株)ギケン
代表取締役
趣味 ゴルフ
出身地 鹿児島県奄美大島



お また かおる
小 俣 薫

柏グリーンLC
昭和25年2月7日生 49才
自宅 日野市豊田2-12-6
血液型 O型
家族 妻礼子 子供3人
(長男・長女・次女)
勤務先 (株)高島屋柏店
副店長
趣味 スポーツ観戦
尊敬する人 坂本龍馬



みつ はし かつ お
三橋 克 男

柏グリーンLC

昭和16年12月23日 57才
自宅 沼南町大津ヶ丘3-24
-C-305

血液型 A型

家族 妻由美子 子供1人
(長男)

勤務地 フーサワ商事

株式会社

趣味 ジョギング



なか むら よう こ
中 村 洋 子

千葉ゆうきのLC

例会の度に、諸先輩から配布される数々の資料と常に真剣で、真面目な皆様の言動に圧倒されております。恩師に誘われるまま入会しましたが、仕事の関係で積極的にアクトに参加できないことを、少々心ぐるしく思っております。



むら い りょう こ
村 井 良 子

千葉ゆうきのLC

私は、北海道函館市出身です。

異国情緒豊かな町函館でのんびりと育ち、今でものんびり屋の私です。皆様の活動ぶりには、驚くばかりです。私も皆様に少しでも近づける様に努力をしたいと思えます。

人にやさえられ数十年がたちました。自然体で私の出来る範囲で、奉仕の心を持ち、人にやさしく、明るく、思いやりのある生活をしたいと思えます。



さい どう てる こ
齊 藤 皓 子

千葉ゆうきのLC

ビジターとして、ゆうきのライオンズの例会に出席したのが昨年の10月でした。その時の、会員の方々の明るい笑顔と自信に満ちた言動に魅せられたのが入会のきっかけでした。

まだまだ未熟ですが、少しでも長く皆さんと一緒に活動が続けられればと思っています。



新入会員はLCの次代を担う宝物です。

みんなで大切にしなければ....

今時「クラブ」と名の付くところに入会すれば、イヤになるほどのパンフレットや案内、マニュアルビデオなどが始めにもらえる。まして何かわからなくて質問すれば事務局や事務所の人が懇切丁寧におしえてくれるだろう。

これに対してライオンズクラブはどうだろうか。入会時に渡すことになっている国際協会から購入する入会時パンフレットはあまりに概論でクラブの仕組みなどわからない。

入会後のライオンズ教育システムはほとんどないし、会員たちもその多くは新会員に対して無関心で、それどころか「入会してくれた人」ではなく「入れてあげた人」というほどに横柄で失礼な対応を見せる場合もある。中には会員よりおっかない(!)事務局員もいるようだ。

ベテラン会員はすっかり忘れているのかもしれないが、新しい団体に入るときの当事者の心境はとて不安でかつなんらかの期待を抱いているはずだ。だからきちんとした受け入れ態勢を整えないといけない。

岡野ガバナーは各リジョンチェアマンのお仕事としてオリエンテーションの実施を指示されているが、それで本当にいいのだろうか? 指示を受けたリジョンチェアマンも戸惑いを隠さない。その状態でいいオリエンテーションができるとは思えない。

そこで提案であるが、地区の指導力育成委員会が主導のオリエンテーションを年に2回ほど千葉市で開催してはいかがだろうか? ただ開催するためだけの行事としてでなく、世界最大の奉仕団体に入会した「熱い鉄」をしっかり鍛え、21世紀のライオンズづくりの主役に育てようではないか。

♪ 名物会員ご紹介 ♪

浦安シーサイドL C

L・ラビンダー・N・マリク

当クラブの99年度会計、マリクライオンは演歌大好きな浦安在住外国人でしかも333-C地区では恐らく唯一人の外国籍ライオンだと思います。

マリクライオンはインドに生まれ、1976年東京に新設された国連大学に着任、96年まで学長室長として勤務されました。

来日当時、都はるみ、北島三郎の歌に感銘を受



け、その後通勤のために車を運転しながらも演歌の練習にはげむなどの成果が実り、85年の「外国人歌謡大賞」で審査員特別賞受賞、94年には関西空港オープニングセレモニーで「さざんかの宿」を披露、95年の「全日本アマチュア歌謡祭」ミドル部門でグランプリ賞受賞、96年の同歌謡祭ではゴールド部門で見事グランプリ賞を受賞される等、今では知る人ぞ知る有名人です。

得意とする曲は大川栄策の曲だそうです。

このほか、マリクライオンは長年「浦安在住外国人会」の会長として国際交流には特に力を入れてこられました。最近は総務庁の「青年の船」に指導官として参加、千葉大学では講師として、国連についての講義や異文化間の相互理解と友情を育てるための社会活動に取り組んでおられます。

(紹介者：幹事 L重光 紀昭)

船橋中央ライオネスクラブ

L S・大野 美津子

船橋の生き字引
特に割烹料理 その他何でも 食通・酒通です
旅に関しては交通公社もたじたじだとか？
仕事も一生懸命 遊びも一生懸命 もちろん奉仕もです。

大野L Sのいる所はいつも笑いがいっぱい。話題豊富です。小唄からジャズ、カラオケ、ダンス、まだまだあります。ただ今足が痛く病院通い。でもダンス音楽が流れてくると足が痛いと思えないくらい軽やかなステップです。お酒も少々いけるとか？我こそはと思う方お電話下さい、お待ちしております。



大野L S

L S・藤原 和子

記憶力抜群 質問するとき迫力があり、チョット辛口でした。2年前までは。今は言葉もやさしく説得力もあります。今の藤原L Sも好きですが(何か物足りない気はします。本当は貴方のように年を重ねることが出来たら最高だと思う)

私達メンバーは個性が溢れています。全員紹介したい気持ちでいっぱいです。いつも勉強させていただいております。これからも宜しく願っています。

(紹介者：L S・遠江 千代子)



藤原L S

物故会員を偲ぶ



浦安LC

L. 醍醐善三郎 (だいがぜんざぶろう)

役員来歴 1983 会長 1986 地区YE委員 1987 地区YE委員
1989 1R1Z・ZC
1995 1R・RC
1995 千葉県青少年育成基金理事
没年月日 平成10年11月15日
享年 72才

身近でいて遠い人となった敬兄。醍醐Lとの出逢いは浦安LCを通じての事で、男性は兄弟親友知人と多くの出会いの中で俗に言う気の合う人。本音をぼつりと言える人。そういう人は人生の中でそう多くは居ないものと思う。

その中で醍醐Lとは波長の違った縦糸と横糸の綾織りのような関係。縦糸一本一本が共通して居るようです。小生を醍醐Lから見れば7才ぐらい年下のため縦糸をしっかりと締めて下さったと思う。昔例会中顔が見えない時の淋しさ、居ればいつもの目配りの合図。例会後の中国研究会は当時から役者変われど主変らずの2人であった。3人のため流会のあの淋しさと切なさ、肩を落とした姿は2人共鏡に写った同一人そのもの。それも遙かな遠い思い出が悲しい。

そんな行動と例会出席を通じて本当の奉仕とはと少しづつ芽生え成長してきたLが飽なく冷めなく嫌にならず本物に成ってきたのか。どうやらL人生なのかも知れない。LSとは何ぞやと熟成されてきた矢先の病魔は何と言しようのない青天の霹靂であった。醍醐Lは長い闘病生活にも何の変化も感じさせない平常心は御本人の並々ならぬご苦勞と精神力が私達を遙かに超越した悟りと言え

るような心境だったと思えてならない。11月16日早朝、訃報を耳にしたときの衝撃は小生の心を慚愧の念に落とし入れたものである。兄弟同様身近に心の中に大きな存在として立っていた柱は秋雷の落下と共に遠くへ消えていってしまった。

般若心経を続誦することの出来得ぬ小生がそつと経本を手にしたあの日。又涙腺の枯れかけた眼から涙は止まらずハンカチの世話になったのも暖かかった。醍醐Lと思い出の数々の中で最たる事は一度成らず共。浦安に333-C地区のキャビネットを持って来よう。各リジョンの名士の方々の御協力を頂きながら近い将来実現して浦安LCの名声をと東奔西走した数年前が一つの分岐点だったと思えてならない。しかし又会議の後の中国研究会は、日夜を問わずの楽しさが今思う極楽の日々であっただろうか。地域社会に活躍するボランティアの諸団体、そのリーダーの方々と広く深く対話、会話を重ね、奉仕の有効性などなど論議は来世で十分尽くすことを楽しみにして下さい。その間浜野Lとゴルフ三昧をして下さい。

四角いグリーンとパイは後年持参します。大きな夢は先日墓前に貴方と宿題にする事をそつと誓った、白暮の六十六日であった。

浦安LC チャーターメンバー
L. 西野 茂



浦安 L C

大塚 隆行 (おおつかたかゆき)

役員来歴 1994 クリスマス委員長
 1996 P R 情報委員長
 1996 国際親善姉妹委員長
 没年月日 1999年4月8日
 享年 53才

弔 辞

昨年の11月この会場の祭壇の遺影にむかい、大先輩醍醐善三郎さんに弔辞を捧げました。

そしてまだその悲しみも癒えぬ中、今度は当クラブの大の友人でありますと同時に何時も元気いっばいの大塚隆行ライオンの御別れの言葉を捧げる事になろうとは、私自身はもとよりクラブ会員全員が信じられぬ思いではないでしょうか。ご家族のお気持ちを察しますと何とお慰めして良いのか言葉が出て参りません。

隆行ライオンは、ことのほか健康には気をつかいジムに通い体を鍛えておりました。スポーツは万能で水泳、野球、ゴルフ、テニスなど、何時も積極的に活動しておりました。特に近日行われます4クラブ対抗のソフトボール大会に向けて一生懸命練習を重ねていたところであります。練習後のビールが最高とほほ笑んでいるのが目に浮かび

ます。

今期の隆行ライオンは、P R 情報委員長として活躍され写真による記録を会報に掲載し会報の充実を図っておりました。聞く所によりますと、ご逝去の原因もカメラによる記録保持と聞きまして何かライオンズ活動と似ているようで、胸が痛くなる思いが致しました。まだまだお話しすることがいっぱい有るように思いますが、悲しさが先に立ち、続けることが出来ません。どうかご遺族の皆様、私たちライオンズクラブに出来ることが有りましたら遠慮なく御申しつけ下さい。

あまりにも短い生涯を閉じました大塚隆行ライオンのご冥福を心からお祈りしながら、誠にととのいませんが私の御別れの言葉とさせていただきます。

平成11年4月17日

浦安ライオンズクラブ 第27代会長
L . 醍醐 重盛



館山中央 L C

鈴木 俊一 (すずきしゅんいち)

役員来歴 9 R・R C クラブ会長他
 没年月日 平成11年8月11日
 享年 69才

巨星逝く、ライオン鈴木俊一天に輝く！

我がライオンズクラブの巨星はいつも紳士にふるまい、他の人に迷惑を掛けない気配り一生の精神に満ち溢れ、実に存在感のある風格は、親しみやすく気軽に言葉を交わす礼儀正しい心の持ち主

でした。当クラブ30周年記念式典の様子を見ることなく逝ってしまい、方向を見失いそうな時期に病欠。総意によって無事成功裡に終わったときは皆思わず天を仰ぐ程一生懸命に協力し合えた結果でした。

物故L鈴木俊一氏にしてみれば、一時ガバナー

への道を夢見ていましたが、本人も喉の病もあり、また環境的にも整わず、その時を逃してしまいさぞかし残念であったことかと思ひ浮かべます。

私達ライオンは、亡くなった数日後の例会を急遽追悼例会として、各自の思い出話をして一時間を過ごしました。丁度会報の発行の時期でしたので追悼の記事を追加して後世に伝えることにしま

した。

これだけの偉業の功績を讃え例会を終わりましたが、なにか筋が一本抜けたような感じでした。光明への暗い道を歩む試練をずしっと背負った気持ちでした。

館山中央LC会長

L・樋口昌彦

船橋中央LSC

L S . 矢橋 邦子 (1982 クラブ会長)

L S . 小仲井 節子 (1983 クラブ会長)

人生には様々な出会いと別れがあります。嬉しい出会い、悲しい別れ。私もライオネスクラブに入会して22年、その間には4人のメンバーとの別れがありました。各々チャーターメンバーとしてまたクラブ会長として貢献された方達です。

5代会長 矢橋邦子L S 初めての周年行事、記念行事、金銭アクティビティなどとても印象に残る一年間でした。ライオネスクラブは仲良しクラブではありませんの一言は今でも忘れません。

6代会長 小仲井節子L S

あれは韓国ソウルでの国際大会に参加申し込みに行く日でした。貴方は元氣なく病院に行くと言ってそのまま入院してしまいました。その後何度かお見舞いに伺いクラブの話をする、とても喜んで聞いてくれました。

私の手元に一枚の写真があります。貴方の笑顔がそこにあります。

あれから4年、私達クラブにも新しいメンバーが入会しました。新しいライオネスの



歌もできました。折にふれ仲間と語り合っております。これからも私達船橋ライオネスクラブを見守って下さい。

L S . 伊藤 初子





物故ライオン御芳名

年 月 日	御 芳 名	所属ライオンズクラブ	R & Z
1999年 5月 3日	L . 磯村 正男	飯 岡	7 R・3 Z
〃 5月11日	L . 高梨 一造	房 総 勝 浦	9 R・2 Z
〃 5月26日	L . 桜井 総一	下 総	6 R・1 Z
〃 5月27日	L . 一井 茂	海 上	7 R・3 Z
〃 6月13日	L . 豊福 和麿	銚 子 中 央	7 R・1 Z
〃 6月27日	L . 高橋 幸雄	栗 源	7 R・2 Z
〃 7月 7日	L . 泉 正久	館 山 北	9 R・1 Z
〃 7月 8日	L . 飯塚 一郎	成 田	6 R・1 Z
〃 7月17日	L . 斉藤 進	船 橋 中 央	4 R・1 Z
〃 8月 9日	L . 川久 正明	船 橋 東	4 R・2 Z
〃 8月11日	L . 鈴木 俊一	館 山 中 央	9 R・1 Z
〃 8月17日	L . 平嶋 文夫	館 山	9 R・1 Z
〃 8月30日	L . 鈴木 稔	柏 中 央	3 R・2 Z
〃 9月 2日	L . 佐藤 寛治	山 田 町	7 R・3 Z
〃 9月21日	L . 佐々木 芳興	市 川	1 R・1 Z
〃 10月 5日	L . 寺田 昌洋	八 千 代 東	4 R・3 Z
〃 11月 2日	L . 佐藤 康博	千葉幕張メッセ	5 R・1 Z
〃 11月 4日	L . 立澤 達也	木 更 津	8 R・1 Z
〃 11月22日	L . 高梨 保一	富 津	8 R・2 Z
〃 12月 2日	L . 柴田 春一	船 橋 中 央	4 R・1 Z

謹んで皆様のご冥福をお祈りいたします



38th O S E A L フォーラム報告 (4th of November 於：シンガポール)



地区会員大会参加委員長
L. 川崎忠男

第38回OSEALフォーラムに関しては波木泰美地区PR情報副委員長が詳しい旅行記を書いてくださるそうなので、私はフォーラム規則に基づいて開催されたステアリング委員会の内容について簡単に箇条書きで報告したい。大切な内容が含まれているのでぜひご参考にさせていただきたい。

1. テーマ “Embracing All Ages” (全ての年齢の方と共に)

1999年は国連の国際高齢者の年であると共に、次の世紀へ向け高齢化を含めた諸問題を解決するため、これらのニーズに応えるため選ばれた。

2. ロゴ・マーク

青い地球の中に、老若男女や全人種が白と黒の二等辺三角形で表され、友愛と相互支援を示すように底辺が接している。

3. 参加者 6,772名

(参加国) 中国 フィリピン マカオ 香港 シンガポール
マレーシア ブルネイ 韓国 タイ 日本
グアム 北マリアナ諸島 サイパン 等

(日本の登録者数内訳)

MD	330	331	332	333	334	335	336	337	内訳不明	計
登録	636	162	117	276	210	360	152	360	521	2,794

4. 協議会議長、地区ガバナー会議決定

(1) 国際役員 (第二副会長・理事) 候補の推薦

a, 国際第二副会長候補者2名がそれぞれ推薦されました。

2000～2001年 MD 4 L.Kay.K.Fukushima (米国・サクラメント市)

2001～2002年 MD 354 L.Dr.Tae-Sup Lee (韓国ソウル市)

b, 2000年～2002年国際理事候補者3名がOSEALから推薦されました。

MD 335 L.Tadao.Dan 団 忠夫 (日本・335-A 神戸イーストLC)

MD 355 L.Chan-Jinsong 宗 昌鎮 (韓国・355-E Han jeonju LC)

MD 310 L.Vuti Boonnikornvoravith (タイ 310 A 1 Bankoke Erawan LC)



(2)39回、40回、41回フォーラム開催について

39回 MD 355 釜山 2000年

40回 MD 310 タイ・バンコック
2001年

41回 MD 303 香港 2002年



5. フォーラムセミナー

- 21世紀に向けてのリーダーシップ
- 青少年の麻薬、飲酒犯罪防止探求セミナー
- 高齢者への挑戦（ホリスティックアプローチ：シンガポールの取り組み）
- ボランティアリズムの価値とその恩恵

6. ジャパンレセプション

今回はMD 333 A・B・C
合同によるレセプションが開催された。





東洋東南アジアフォーラム特集

参加して知る

「形あるライオニズム」

～第38回東洋東南アジアフォーラム・シンガポールに参加して～



地区PR情報副委員長
L. 波木 泰美
(千葉ゆうきのLC)

参加してみないとわからない！

どんな組織でも同じことですが、LCでも行事やイベントへの参加は誰かが強引に誘ってくれるか、自分が参加しようと思わないと始まりません。

例えば私の場合、昨年の東洋東南アジアフォーラム横浜大会にキャビネットから要請があり、たまたま私がクラブ会長でしたので「それじゃあ」ということで参加することになりました。それまではこういったイベントは別世界の他人事のように大会に「参加する・参加しよう・参加しなければならぬ」等の意志表示をすることさえしませんでした。ライオンズスピリットを自分の生活に取り入れるだけで精一杯。

ですから今回のシンガポール大会に自分からすんで参加申し込みしたことは、それ自体私にとって意義あることとなりました。

華やかなイベントの舞台裏

開会式前、ウェスティン・スタンフォード&プラザ・ホテルで開催されたフードフェスティバルはそれ自体は何の変哲もないものでしたが、ライオンズグッズ販売担当のCLARKE・QUAY・LCの男性ライオンのバッジと私の日本の国旗付きライオンズバッジを交換して友好的気分を味わい、多くの先輩Lが国際大会等で行ってきたバッジ交換の楽しさを知ることが出来ました。

昼食後、会場となる日本武道館のような外観のインドア・スタジオに移動しました。驚いたのはその整然としてかつ過不足ない大会運営でした。

昨年の横浜大会開催時、会場で横浜みなど21LC(女性みのLC)のメンバーが「準備は万端だけれど、ちゃんとうまくいくかどうか最後まで手がぬけない」と疲れた声で話されていたのを思い出します。

あの横浜大会を準備された方々の努力・ご苦労の程は想像に余りあり心からの敬意を表したいと思いますが、今回のシンガポールの大会を運営されたシンガポールのライオンズの底力にただただ驚き、こういう方たちも同じライオンズ仲間なのだと思い、とても嬉しい気持ちになりました。



市民のニーズの変化に対応した

頼りになるLCづくりを

今回の大会の参加者は約5千9百人。その中で日本からの参加者は約2千7百人、そのうちC地区からは70名ほどでした。私たちは舞台の右側に陣取りました。

式典は中国語、英語、日本語を使い分け語る歌手のはりのある美しい歌声で幕を開けました。大会役員、地区ガバナー入場で我々が岡野正義ガバナーの姿を見つけたときには、「私たちは大きな国際的な組織の一員なんだ」と実感し感激しました。

そして、アービン国際会長、シンガポール大統



領ご夫妻が入場され、いよいよフォーラム開会式の始まりです。大統領の「LCの発展を歓迎し今後の躍進を期待する」というご祝辞の中で「市民のニーズの変化にどう対応するかをぜひ考えてほしい」と問題提起された時には「頼りになるライオンズクラブ」を真剣に考えられ、期待されているのだと実感しました。

リーダーシップそのものが変わっていく

今回は11月7日の閉会式にも参加しました。会場には開始時間すれすれに入ったため、場内は満席の状態でした。それでも前から3列目に運良く滑り込めたのは、2002年の大阪国際大会のPRにおいでになった大阪組のお席が少しだけ余っていたためようです。今回の大会ではこのように面識のない多くのメンバーの方からお世話になりました。

閉会式では、セミナー議長のフォーラム報告の中に興味深いお話がありました。それは「2002年に向けてリーダーシップが変わっていく」と言うものでした。最初はてっきり単なる大阪へのエール、リップサービスだと思っていましたらそうではなく「情報技術の発達で今までのようなリーダーは必要なくなる。これからの数年でリーダーシップそのもののあり方がダイナミックに変わっていく」という意味深長なお話だったのです。

確かにマルチメディアの発達で私たちの生活は急速に変化していくと思いますが、活気に溢れる東南アジア各国のLCに対して、年齢的に高くコンピューターアレルギーの強い日本のLCの現状

を考えますと「日本人のつくる大阪大会は十分にアジアの期待に応えられるのだろうか」「岡野ガバナーは呼びかけられているけれど、私たちのクラブでどうやって実現していくのだろうか」ととても不安になりました。

国際イベント参加で得られる

「形あるライオニズム」

今回の参加で経験した外国のライオンとの交流、面識のないメンバーからお世話いただいたこと、大統領のご祝辞や日本では自分とは関係ない他国のことと考えていたマルチメディア対応の必要性とそれに伴うリーダーシップの変化など、日本において自分のクラブに在るだけでは決して得ることのない多くの「ライオニズムの形」に接することが出来ました。

ここで得た「形あるライオニズム」の小さな種を日本に持ち帰り、自分なりに種を育てること。LC活動との関わりの中で前向きにいろいろ探ってみるのもいいかなと考えながら帰国しました。

最初に述べましたように、自分でもう一步踏み込んで参加してみないとLC活動の奥深さを知ることには出来ません。LCが停滞しているといわれる日本ですが、新しい会員の方こそぜひともこう



いうLC国際イベントに参加していただきたいと思います。そうすることがLC活動参加の意義を深め、より充実したライオン生活への近道ではないでしょうか。

最後になりましたが、旅程の中で多くの皆様からご指導いただいたことに感謝申し上げます。



台湾大地震救援募金

トルコ台湾地震災害救援金の状況報告

ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区
地区ガバナー L.岡野 正義

去る8月17日のトルコ大地震、並びに9月21日の台湾大地震の災害救援については各クラブより早速別紙の通り大きな善意をお寄せ頂き、有難うございました。

厚く御礼申し上げます。

トルコ大地震救援金については、期日の10月15日にそれまでにお寄せ頂いた資金、4,772,573円を日本ライオンズ8複合地区ガバナー協議会議長連絡会の指定口座宛送金致しました。

なお、先にお知らせした通り、その後の台湾地震の発生と、トルコ向け救援金の集まりが予期以上であったこともあり、各地区の意向も尊重しながら、原則として2分の1を台湾に振り向ける(333-C地区も賛同)こととし、結果全日本としてトルコ向け約120千万円、台湾向け80千万円(各クラブ、各地区、独自対応分を除く)が集まって居ることとなります。

今後の予定としてはトルコに対しては仮設住宅建設資金として12月22日頃、代表世話人が現地で贈呈を行う。また、台湾については現地複合地区ガバナー協議会宛て、1月8日頃訪台し贈呈する予定であります。

当地区キャビネットに寄せられた資金(現在約2,844千円)については地区内クラブと姉妹提携している被災地クラブ、並びに上記全日本の指定口座への送金、等の方向で検討中であります。

皆様のご協力に重ねて感謝申し上げますと共に、以上中間報告とさせていただきます。

2R1Z合同

(松戸LC、松戸中央LC、松戸ユーカリLC、
松戸南LC、松戸グリーンLC)

日時 平成11年10月2～3日
場所 松戸市 松戸駅前広場

台湾地震災害に対する救援募金



台湾地震発生間もなく開催された松戸まつりの好機を捕らえ、時間的制約の中、杉浦ZCの呼びかけで1ゾーン5クラブ(松戸、松戸中央、松戸ユーカリ、松戸南、松戸グリーン)合同の救援募金を実施しました。

まつりに遊びに来る子供達が、おそらく僅かな小遣いだと思います。その中から募金をしてくれました。また茶髪の少年も募金をしてくれました。募金活動が初めてのメンバーでどこかぎこちないのですが、大勢の皆様にご協力いただき、募金をしていただきました。この活動を通じ学んだことが多くありました。まだまだ暖かい心がある。

台湾の地図を知っていますか？



集集を中心とした台湾全土の被害状況
 (「震傷 921 集集大震」より転載・協力 矢崎勝彦L)

この地図を見ると今回の地震が台湾のど真ん中で発生したことがよく分かります

この地震のエネルギーはあの阪神大震災の数倍以上だそうで、私たちの身にもいつ襲いかかってくるか分かりません。



台湾中部大地震～義援金 海を渡る

去る9月21日未明、南投縣集集周辺を震源とするマグニチュード7.7の大地震が台湾中部一帯を襲った。この地震によって多くの建物が倒壊し、多数の死傷者をだした。同様に大地震に見舞われ阪神大震災を上回る死者をだしたトルコ大地震の救援募金活動を岡野ガバナーが呼びかけている矢先の大災害だった。

トルコ大地震は災害の規模ははるかに大きいもので食糧不足と夜間の寒さで苦しむ被災者の悲惨な状況が映像で伝えられたが、遠い国の違う人種・民族の国の悲劇ということかなぜか冷静に受け止められた。

しかし、台湾の場合は隣国で同じ東洋のごく近い民族の災難で、被災者の様子も他人事とは思えなかった。そして日本人の多くの方が旅行や仕事で台湾を訪問したことがあり、ライオンズクラブでも県内の数クラブが姉妹クラブ提携をしていたりと、地理的にも精神的にも隣人の国、友人の国として身近に感じられており、救援募金活動も自ずと力の入りように違いがあったことは間違いない。

多くのクラブが義援金をキャビネットや独自のルートで台湾に送ったり持参したようだが、現在までに投稿されている3つの例をご紹介します。方法は全く異なるが、いずれの場合も何らかの機関を通じることなく直接台湾に義援金を届けた点で特筆する価値があると思う。



ロータリークラブ、青年会議所に

呼びかけ合同駅頭募金を実施

L・根岸直巳（市川LC）

市川市ではやはり25年ほど前から震源地南投縣の埔里(ほり)の街と商工会議所、ロータリークラブ、青年会議所が姉妹関係を大切に温めてきた。市川LCでは結成20周年の時には相互に訪問を行うなどしたが、姉妹締結は行わず個人的な交流でとどまった。

今回の地震では日本テレビの現地クルーがたまたま埔里を拠点としたため、毎日現地の状況が伝えられた。それで24日に救援募金をしようと思ったが、市川LCの関係だけでは直接持参する



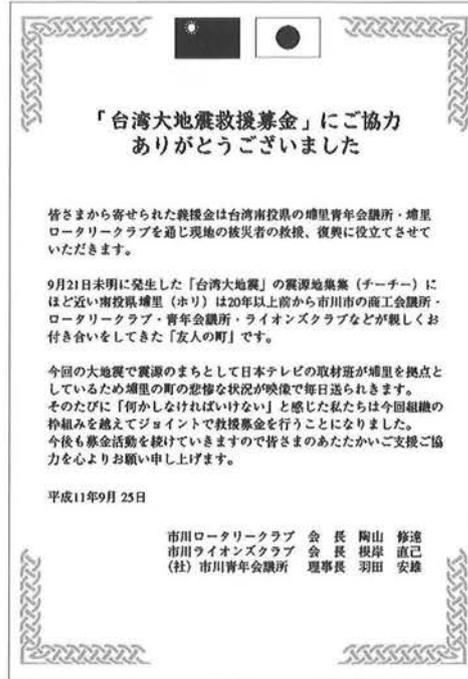
三団体入り乱れての募金活動の風景

ことは難しい。それなら密接な関係にある市川ロータリークラブ、(社)市川青年会議所とのジョイントはどうかということになり、それぞれの会長・理事長に呼びかけたところ、ロータリークラブも青年会議所も駅頭募金の経験がなく、どうしてよいかわからず困っているという。そこで市川LCの募金箱や看板(今回更新した)を使って、なんと翌日の25日26日の両日、各6時間という長時間の募金を行うことになった。

それから大慌てで3団体連名でお礼のチラシ、看板、募金箱を制作し、子どもたち用の風船やシール等を用意した。

3団体がそれぞれのタスキやノボリ、ジャンパーをつけ、入り乱れての活動であったが多くの市民が一度通り過ぎてから戻って募金するという具合で、市民の意識に非常に強く印象づけることができた。これまでの手法なら市内のLCの合同活動となるところ、異なる3団体合同で行った救援募金は逆に市民にインパクトを与えることになった。

12時間に渡る募金の結果、駅頭から約120万円の義援金が集められた。さらに市川LC事業費会計からの見舞金10万円等を含めて合計2百数十万円の義援金他をちょうど9月末に埔里青年会議所の周年行事に参加を予定していた市川青年会議所の羽田理事長他1名が現地に持参し、現地の青年会議所、ライオンズクラブ、ロータリークラブの連名で震災孤児の施設の運営資金として寄付された。



市川LCほか三団体の合同駅頭募金にご協力いただいた市民へ配布されたチラシ

LC主導で実現した事業であったが、ロータリークラブ、青年会議所それぞれの事情に配慮した結果、これまでバラバラに事業展開してきた3団体の間に深いパートナーシップが構築できたという点で貴重な第一歩となった。ちなみに3団体連名の順は結成順とした。(詳しくは市川LC会報10月号に掲載)



会員自ら被災地を訪れ義援金を贈る

L.南雲 淳一 (下総中山LC)

下総中山LCは震源地にほど近い雲林縣LCと姉妹提携をして、25年の永きに渡って親しくおつきあいを続けてきた。互いの周年行事などの慶事には多数のメンバーが夫人を伴って相互訪問し合っている。

30周年を迎えている下総中山Cでは周年積立金から200万円を取り崩し災害義援金として拠出し、10月3日に元会長の松丸征勝Lと大久保博L、そして平山良一前会長の3名が被災地を訪問し自分たちの手で現地クラブの手配で市長に贈呈した。

この訪問は災害から2週間足らずの時点のこと

で、現地は受け入れ態勢どころではなかったが、友人が遙々義援金を持って見舞ってくれたことに皆深く感激されたそう。

ちょうど11月24日に下総中山LCの「結成30周年の集い」が開かれたが、まだ災害から2ヶ月余なのに、先方から記念品を携えて元会長と幹事のお二人がお祝いに駆けつけてくださった。

台湾人の義理堅さに驚かされたと同時に両クラブ間の友好がより深く強いものになったことが実感できた。



「921集集大震」を見舞う

2009年12月10日
Lions Club 333-C
習志野中央L.C.



地区PR情報委員長

L. 矢崎 勝彦 (習志野中央L.C.)

M7.7という阪神大震災 (M7.2) をしのぐ大きな破壊力を持って台湾全土を直撃した「921集集大震」(台湾での正式名)には、姉妹提携や友好クラブの数多い事情もあり、トルコ大地震直後とは桁外れに日本のライオンズクラブの反応は俊敏であった。しかしその多くは救援募金に対してでありそれ以外の支援には、大きな動きが少なかったように思う。

10月4日の地区PR・情報委員会の席上市川L.C.関係者がいち早く既に現地へ飛んだことを知ってからは正に「隔靴搔痒」であった。4R3Zの4クラブでは、習志野L.C.の50万円に16万円を加え姉妹提携先の苗栗縣竹南L.C.を通して300-G地区を、習志野中央L.C.の190万円に16万円を加えて姉妹提携先の台中縣豊原中央L.C.を通して300-C2地区を支援をした。大部分を送金した後であったが、第3回分の現金を持って大地震から丁度2ヶ月後の11月22・23日の両日、4RのRC・L.富原、習志野中央L.C.のL.梶本、L.松信と私の4名で被害甚大であった豊原市とその周辺地区の台中縣を訪問した。

現地では、豊原中央L.C.の案内で特に被害の大きい学校2校を訪問し、支援金の一部を見舞金として住宅全壊の生徒家族に直

接手渡すACTを行った。そこで校長や家族生徒たちの喜びの表情と感謝の気持ちを受け、直接見舞った意義が確認出来一同感激であった。

その夜ホテルで地区役員の幹旋で300-C2区王文明ガバナーを交え夜半の会談に臨んだ。12月10日に台北縣L.C.のCN35周年式典の席上、333-C2区に贈呈する案件であったが、王文明ガバナーは痛く感動されその日の受納を心底喜んでくれた。

1泊2日の駆け足であったが、「車籠埔断層」が地表に現れたと言われている被災地を含め「逆断層」活動のすごさを確かに自分の目で見ると貴重な体験をさせてもらった。「百聞は一見にしかず」。

ともかく、今回の「921集集大震」は我々の想像を超える天災であった。紙面の都合で詳細は3号に報告したい。





Go! Go! MAKUHARI 2000



ビデオフェスティバルに全クラブの参加を

地区年次大会映像部会
L 阿佐幸雄 (幕張メッセ LC)

2000年4月30日に幕張プリンスホテルで20世紀最後の地区年次大会が「MAKUHARI 2000」と銘打ち開催されることは皆様ご存知のことと思いますが、その年次大会で地区のACTをまとめたビデオを放映するために、地区全クラブの方々に「ビデオフェスティバル」の呼び掛けを行っています。

我々ライオンズマンが行った活動を映像記録として残し、21世紀につなげるものにしたいと思いますのでどしどしご応募ください。

お寄せいただいた記録はビデオテープに10分程度に編集し、当日放映いたします。

また、参加全クラブの記録を、60分程度に編集したビデオも作成し、応募されたすべてのクラブへ贈呈いたしますので、今後のACT資料として有意義にご活用ください。



ビデオ フェスティバル 応募要項

●応募締切日

2000年2月末日

●応募データの種類

ビデオテープ(アナログ・デジタルいずれでも可)又は写真

1ACT 5~10分間程度に編集されたビデオテープ(複数のACTを1本に編集しても可)

組写真(1ACTにつき5枚程度の写真)

※応募する1ACTにつき400字程度でクラブ名、日時、内容、目的等の説明を添付すること。

(なお、編集したビデオのマスターテープは保存しておいて下さい。)

●応募方法

佐川、やまと等の宅配便にて送付して下さい。郵送の場合は配達証明で送付のこと。応募作品は年次大会会場受付にて各クラブに返却

いたします。

●応募先

MAKUHARI2000

ビデオフェスティバル係宛
〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-55
シーオービル 6F キャビネット事務局内
tel.043-243-2528 fax.043-247-4756

●その他

優秀作品はアワードの対象となります。

●ビデオ制作に対するお問合せ先

L.田畑 稔(千葉幕張メッセ LC)
千葉市稲毛区黒砂台1-2-10
(有)ビデオトラスト
FAX.043-238-5044

※お問合せは、ご質問内容をL田畑までFAXしてください。後日、解答させていただきます。



第46回ライオンズクラブ国際協会333-C地区年次大会

Go! Go! MAKUHARI 2000



会場：幕張プリンスホテル

20世紀最後の地区年次大会が「**MAKUHARI 2000**」と銘打ち、幕張プリンスホテルで開催されます。年次大会委員会では、前夜祭をはじめ、年次大会を今世紀を締め括り、来るべき21世紀を希望に燃えるものとするべく準備を進めております。

前夜祭後のご宿泊も、幕張プリンスホテルを特別価格でご用意致しておりますので、お気軽にお越しください。

MAKUHARI 2000 前夜祭

2000年4月29日 (土曜日)

登録受付	17:00～18:00
懇親会	18:00～20:00
登録料	10,000円
ご宿泊料	10,000円 (1名様1泊朝食付、税金サービス料込み)

**ご家族・奥様
同伴歓迎**

MAKUHARI 2000 年次大会

2000年4月30日 (日曜日)

登録料

会員	5,000円
ネス、レディ	3,000円
レオ	無料

代議員会	登録受付	09:00～09:55
	代議員総会1	10:00～10:20
	分科会・フォーラム	10:35～12:05
	代議員総会2	12:20～12:35
大会式典	登録受付	12:20～13:20
	大会式典	13:30～15:00

333-C地区年次大会委員会

ガバナーズローガン **“友愛と奉仕で創ろう 明日の日本 子らのため”**



L岡野正義地区ガバナー(右)とL御園生隆地区年次大会委員長(左)

第46回地区年次大会は、ガバナー岡野正義Lの方針を基に、20世紀を総括し、21世紀への展望をイメージした、楽しく連帯感を高められるよう、イベントタイトルを「**MAKUHARI 2000**」と銘うって、千葉市の幕張で開催されます。

マルチメディアを活用しスピーディに心をかけておりますので、クラブ会長をはじめ会員皆様の積極的な参加をお願い致します。

第46回地区年次大会委員長

L御園生 隆 (千葉京葉LC)



心がわくわくする楽しいひとときを...



前夜祭出演のデキシークィングス

MAKUHARI 2000 前夜祭アトラクション

前夜祭には、「デキシークィングス」を迎え、華やかでゆかいなデキシークィングスで、楽しいひとときをお楽しみいただけます。美味しい料理とお酒も飲み放題、必ずご満足いただけます。また、前夜祭後のご宿泊も、幕張プリンスホテルにお部屋(シングル・ツイン)をご用意しておりますので、奥様ともどもご参加ください。

MAKUHARI 2000 年次大会記念式典

来年の年次大会は「**MAKUHARI 2000**」と銘うってビジュアルな映像を駆使して企画しています。また、ビデオフェスティバルで応募された各クラブの活動の軌跡を編集し上映します。そして、全女性ライオンによる、コーラスで感動のフィナーレを…。映像と美しい歌声と未来を担う子供たちが主役です。この大会をステップに、21世紀にむかってさらに結束を高めて行きましょう。

GO! GO! MAKUHARI 2000 全員登録でのご参加を!!



★ 年次大会ホストクラブ ★

5R-1Z

千葉 葉
千葉 中央
千葉幕張メッセ
千葉グリーン
千葉 ネオ

5R-2Z

千葉エコ
千葉京葉
千葉若潮
千葉ポート
千葉ゆうきの

MAKUHARI 2000 ビデオフェスティバル 映像記録募集中!!

今年度各LCが行ったアクティビティ記録をビデオテープに編集、「**MAKUHARI 2000**」にてダイナミックに上映します。我々ライオンズマンが行った活動を、21世紀につなげるものになりたいと思いますので、どしどしご応募ください。

応募要項

- 応募締切：2000年2月末日
- 応募先：MAKUHARI 2000 ビデオフェスティバル係 宛
〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-55
シーオービル6F キャビネット事務局内
tel.043-243-2528 fax.043-247-4756
その他、詳細は「333-C地区ニュース Vol.1」をご覧ください。



次のご案内は1月にお送りします。

交通案内図▶

いよいよ西暦2000年を迎えます。大晦日から元日に変わる一瞬で、暗いイメージの世紀末から明るい未来を予感させる新世紀、新千年紀になるわけです。Y2K問題は心配ですが、この一瞬の違いがもたらす精神的変化に大いに期待したいと思います。

今年の地区PR情報委員会が2ヶ月に一度の定例編集会議を開いていることは前号にお知らせしましたが、各リジョンから出られた委員の皆様のご熱意と情報センスは素晴らしく、今回の第2号も次の3号も内容的にご満足いただけるものと確信しています。

自分たちで自分たちのことを褒めてばかりで申し訳ないのですが、私個人としては今号の記事の中で波木泰美(むつみ)副委員長がシンガポールフォーラム記に記された「ライオニズムの形」という記事が最も印象に残りました。その中に述べられたいくつかのことは21世紀の

LC、私たち千葉県LCのあり方に大きな指針を与えているのではないのでしょうか。

今号編集でどの委員さんも積極的にご協力くださっている中、特に4Rの矢崎勝彦Lには台湾大地震やフィリピンとの少年サッカー交流など多くの記事や資料をご提供いただき、2号で紙面の都合上載せられなかった矢崎Lのライオン誌の写真コンクール優秀作品コレクションなどは3号で皆様にご紹介させていただきます。

また、地区PR情報委員会で1Rの野垣内(のがいと)LをリーダーにC地区のホームページ制作を進めています。どうぞご期待ください。



目次

ガバナーご挨拶

地区ガバナー L・岡野 正義・・・1

巻頭特集その1

333-C地区 統一テーマ活動

「水辺のクリーン作戦」・・・3

アブナイ!!危機にさらされる日本固有の生態系・・・5

千葉市内合同アクティビティー稲毛の浜クリーンデー・・・8

各クラブの活動報告 (1R～10R)・・・9

巻頭特集その2

薬物乱用防止活動について・・・15

緊急対談

LCの薬物乱用防止キャンペーン用品がほしい!!・・・17

第2回キャビネット会議議事録・・・19

クラブ活動のページ (1R～10R)・・・21

ライオネスコーナー・・・26

新入会員ご紹介・・・29

名物会員ご紹介・・・31

物故会員を偲ぶ・・・32

巻末特集その1

38th OSEAL フォーラム報告・・・36

参加して知る「形有るライオニズム」・・・38

巻末特集その2

台湾大地震救援募金

トルコ台湾地震災害救援金の状況報告・・・40

台湾中部大地震～義援金海を渡る・・・42

巻末特集その3

GO! GO! MAKUHARI 2000・・・45

編集後記・目次・・・48

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区ニュース Vol. 2

発行日 1999年12月20日

発行者 ライオンズクラブ国際協会 333-C地区

地区ガバナー L・岡野 正義

〒260-0025 千葉市中央区問屋町1番55号

TEL 043-243-2528 FAX 043-247-4756

編集者 ◎L吉原稔貴 ○L波木泰美 ○L千本芳秀

○L鹿野國秀

印刷所 文陽堂印刷紙工株式会社 tel. 047-325-1611

(レイアウト 倉本忠幸)